

ガバナー



# 月信

前大徳の道



# 6

June 2018  
Vol.12

Governor's Monthly Letter

国際ロータリー第2630地区  
2017-2018年度  
ガバナー 田山雅敏



旧小田小学校本館

## Contents

- 第2630地区 ガバナーメッセージ …… 2  
「一年を振り返って」
- 第2630地区 ガバナーエレクトメッセージ …… 3  
「次年度に向けて」
- 2017-18年度クラブ会長挨拶 …… 4

- 韓国訪問 3600地区地区大会参加報告 …… 14  
2018年地区研修・協議会
- 中津川RC 創立60周年記念式典・祝賀会 …… 15
- 2017～2018年度 一年を振り返って …… 17
- 出席報告 …… 18
- 会員動静報告 …… 19

Rotary 



第2630地区のHPは  
スマートフォンでも  
ご覧いただけます



ロータリー：  
変化をもたらす





## 一年を振り返って

2017-2018年度  
国際ロータリー第2630地区ガバナー

田山 雅敏

この一年間、本当にありがとうございました。  
早いもので、2017-18年度の最後の月信となりました。あっという間の一年間でしたが多くの方に支えられ無事に終了することができました。振り返れば3年前に当時のクラブの会長、そしてパスト会長からガバナー受諾の問合せを頂き、多少躊躇しましたが、クラブも応援してくれるとのことでしたのでガバナーになることをお引受けした次第です。

12グループのガバナー補佐の皆様方、地区委員会委員長をはじめ委員の皆様方、パストガバナーの皆様方のサポート、そして多くのロータリアンの支えと地区代表幹事をはじめとする地区幹事のお蔭で何とか任を果たすことができました。

今ロータリーは新しい方向を模索している最中です。世界的にみても新興国の台頭により多くの意欲的な若いロータリアンが輩出される状況がある一方、先進国では会員の高齢化が問題となって、一つの大きな曲がり角にさしかかっています。先般来の規定審議会でのいくつかの緩和条件は、多くのクラブにとってその条件をツールとして会員増強あるいはクラブ強化の為に用いる位置づけに理解されつつあります。今年の「MAKING A DIFFERENCE」は前向きの変革を促すものであり、皆さんのクラブでも多くの議論があったことと思います。各クラブが次のス

テップに行くために何をしていくべきかはいくつかの方向性がでてきたと思います。次年度はそれらをより具体的に手をつけていくことが求められると思います。そしてご自分のクラブが地域で、そして世界のロータリーの一員として何をなすべきか今行動に移すときが来たのではないのでしょうか。地区テーマ「未来を創造しよう」は皆様のクラブの活性化への道のりの一助となったことと思います。「10年後のロータリー」を考えた行動も始まったことと思います。会員増強も現時点では多くの地区が苦戦している中、我が2630地区は増強を続けています。然し乍ら、地区内クラブ数は一つ減り、来期は75クラブとなります。

組織というものはその変革を目指すとき必ず抵抗勢力との争いがつきものです。ただはっきりしていることは、今のままでは多くのクラブは退歩するということです。何か新しい取り組みを始めても現状維持がやっとなということにもなりかねません。今年度は次のステップへの熟慮してきた踊り場の一年のような気がしています。各クラブの『INSPIRATION』が問われる一年が始まりつつあります。ロータリーを楽しみ、素晴らしい組織にしていきましょう。そしてロータリーの絆を深める事業に邁進していきましょう。

一年間本当に有難うございました。



## 次年度に向けて

2017-2018年度  
国際ロータリー第2630地区ガバナーエレクト

木村 静之

1 次年度RI会長バリー・ラシンさんのテーマは、「インスピレーションになろう」“BE THE INSPIRATION”というものです。ラシンさんは世界123万人のロータリアンに向けて、「クラブ、地域社会、そして組織全体から、意欲を引き出そう」、「鼓舞する人になろう」と呼びかけています。前向きな変化を生み出したい、そのための意欲を引き出そう、という熱い思いが伝わってきます。

2 **ロータリーの新しいビジョン声明**が発表されました。

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

「行動する」という言葉、「持続可能な変化を生む」という言葉に注目してください。今RIで最も重視されていることです。

3 私の次年度地区ガバナーとしてのテーマは、「**理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動**」です。

「**理念をかかげ**」・・・ロータリーの根源にある「奉仕の理念」、職業奉仕の考え方を、改めて互いにしっかり掲げたいと思います。残念ながらRIで最近「職業奉仕」という言葉があまり聞かれませんが、聞かれることがあっても「職業上のスキルや経験を生かして奉仕活動をする」という意味であって、本来の職業倫理の重視・職業倫理の向上という意味ではあまり使われなくなりました。私は、ロータリーの根源にある「奉仕の理念」を、改めてしっかり掲げたいと思います。我々の職業は収入を得るためではありますが、同時に世のため人のためになるものでなければなりません。そして、奉仕の理念を学ぶ場がクラブの「例会」にあります。例会のプログラムを大切に、例会において「奉仕の理念」が浸透されるよう工夫したいものです。

「**意欲を喚起し**」・・・私は、意欲を喚起するために「感動体験の話をする」ということをご提案したいと思います。ロータリーで過去に行ってきたプロジェクトの中から、自らの感動体験を思い起こしてください。青少年に対する奉仕活動で、また国際的な奉仕活動で、子供たちの笑顔を見て、「やってよかった」と思うことがいくつもあると思います。私たちは、そういう感動体験によって、さらなる奉仕活動の意欲が出てきます。また、他のロータリアンの感動体験の話聞くことによって、私たちはそこから意欲をもらいます。

「**共に行動**」・・・ロータリアンは信頼で繋がっています。ロータリーの仲間みんなで奉仕活動を実践しましょう。一部のメンバーだけの活動ではなく、多くの会員が参加して行うことによりさらに大きな良い効果が得られます。多くの会員が参加するよう、意欲を喚起したいものです。そして、どんな行動（プロジェクト）をするかは、各クラブの創意工夫にかかっています。アンテナを広げ、地域社会で、あるいは世界で必要とされている課題を取り上げてください。ヒントは地区の社会奉仕部門、国際奉仕部門、青少年奉仕部門からも得られます。プロジェクトを実行するにあたっては、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を活用することもお勧めします。

4 クラブが行ってきた充実した活動を、外へ向かって広報しましょう。**公共イメージと認知度の向上**です。私たちの活動に対して世間の関心が集まれば、私たちの意欲も向上します。会員増強にもつながり、クラブを魅力あるものにします。

主役は各クラブです。地区ガバナーも、ガバナー補佐も、地区の各委員会も、クラブをサポートする役目を持っています。一緒に、ロータリーを魅力あるものにしていきましょう。

## 一年間のロータリー活動を振り返って



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
岐阜ロータリークラブ  
会長 長谷 和治

諸先輩が築いてこられた83年の歴史と伝統を継承しさらなる発展を目指して、会長の指名をいただきました。イアン・H.S.ライズリーRI会長が、今年度テーマ「ロータリー：変化をもたらす」と掲げられました。「大勢には、善きものと悪しきものとあり。大勢には逆行するもの、又は順応するものは減ぶ。順応しつつ真理を守るものは残る」と聞いています。

クラブの歴史と伝統を継承し、自主性を高め運営の仕方、方法を時代にあつたものに変え、魅力あるクラブづくりを目指しました。

岐阜クラブは「四つのテスト」を奨励しており、「四つのテスト奨学生」「四つのテストマナー教室」「四つのテストカーリングブック贈呈」の事業を展開し、又、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、地域発展のための奉仕活動に通じる楽しい例会。会員の親睦をはかる恒例の新年五礼会、夫人同伴の納涼例会、家族旅行等、皆様が大変喜んでいただけたと思います。親睦委員会をはじめ各委員の皆さんに大変お世話になりました。感謝です。

最後に微力な会長を支え、助けていただいた副会長、幹事、会員の皆様へ今年一年間のお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。



**一年間を振り返って**  
岐阜北ロータリークラブ  
会長 永瀬 章

会長就任時に『10年後の夢ある我がクラブ』と題してIMでスピーチをしました。その時、一年二年先を見通すのが難しいのに10年先は想像できないということで、9年前に会長を務めた時を振り返ってみました。十年一昔と言いますが、人員で17%、予算規模で24%のダウンとなっています。クラブ内の行事は大体踏襲されていますが、以前は行っていた交換留学生の派遣、受入はここ数年行われていません。資金的要因と人的要因です。内部的には大きな変化はないようだが、外部的にはその奉仕活動に様々な制約を受け始めたようです。『未来を創造しよう』というガバナーのテーマを実践するためにはクラブが元気でなければならない。行きつくところは会員増強です。本年度4名の純増を目標として掲げました。会員増強のための夜間例会を二回開催し、あと一歩で入会しような人、また、こんな人に入って欲しいなと思う人達を招待して、お酒を酌み交わしながら談笑いたします。その効果もあり三人の新規会員を獲得出来ました。ただ残念ながら退会者もあり現在純増2名であります。目標達成に向け、会員に更なる勧誘をお願いし、私も声掛けをします。地道な努力が実を結ぶことを夢見て。



**一年間を振り返って**  
岐阜西ロータリークラブ  
会長 八代 勝治

私が2007年7月から岐阜西RCの会長に就任してからもう10か月が過ぎました。

会長に就任する前は期待と不安が混じり合い、私に会長という重責を果たせることができるか心配しておりましたが、いざ新年度が始まると幹事を始め各部門の委員長が計画通りにどんどん事業が進んで行き、気が付くともう残りの任期が約2か月となりました。

最初の我がクラブの大きな事業は、我がクラブと姉妹クラブとなる韓国天安RCからの交換留学生の受け入れがあり、4日間子供達を我がクラブの会員宅に受け入れ、日本の青少年達と一緒に過ごしました。たった4日間の受け入れでも天安の子供達が韓国に帰る時には涙を流し、別れを惜しんでいました。子供達がたった4日間で一緒に過ごすだけで国籍を離れ、互いに情が生まれ育っていました。これが本当の民間外交だと思います。先輩を始め会員全員の協力で何とか一年を終わらせることが出来ます。感謝申し上げます。



**一年間を振り返って**  
岐阜中ロータリークラブ  
会長 渡辺 成洋

私どものクラブは、昨年度の30名のスタートから、3名減の27名からのスタートとなり、厳しいクラブ運営を余儀なくされる中、出席向上委員会を中心として、例会出席に重点を置いて進めてまいりました。100%例会をスローガンに会員の出席への意識改革を様々な手立てでもって啓発してまいりました。その結果、高い出席率を維持しながら推移できたのが良かったと感じております。

また、青少年奉仕の事業として新たにポリオ募金を冠とした、チャリティーサッカー大会を企画し、青少年の育成事業を目的としながらも、ロータリークラブとしての公共イメージの向上にも寄与でき、意義ある結果を達成できました。

継続事業も無難に実施した中で、やはり会員拡大に関しては思うように結果がでていないのが心残りです。

この場を借りて、私を支えてくれた役員の皆様と会員の皆様へ御礼申し上げます。



**一年を振り返って**  
岐阜長良川ロータリークラブ  
会長 深貝 一仁

平成29年度岐阜長良川ロータリークラブ会長を務めさせていただきました。私共のクラブは昭和40年9月27日に創立され今期53期目に当たります。

本年度、対外的な大きな事業の一つとして、平成29年7月29日に行われました岐阜Aグループの「IMとガバナー公式訪問同例会」の開催があります。準備作業・当日の進行はIM特別実行委員会の皆様にお世話になりました。お蔭様で無事終える事ができ難く感謝いたしております。

対内的には、「十年後の我がクラブ」を思い描き「会員増強・会員の確保」を掲げましたが、今日現在物故者2名を含め4名退会、新入会員1名入会で実質3名減となっております。会長として誠に申し訳なく思っております。会員勧誘に関し私なりに感じましたのは、岐阜長良川ロータリークラブの魅力作り、そしてそれを自信と熱意をもって伝える努力だと思います。時間と根気のいる作業かと思いますが頑張らなければなりません。

この一年間会員の皆様にはご支援ご協力を賜る誠に有難うございました。また、個人的には会長という貴重な体験をさせていただいたことを心から感謝致しております。一年間本当に有難うございました。



**一年を振り返って**  
岐阜南ロータリークラブ  
会長 宇都宮 幸嗣

今期の当クラブターゲットは「ゆとり」でした。

毎日忙しい日々を過ごす私達は、この忙しさの中で目の前の事を一直線にしかみていないことが多く、ここで、「ゆとり」を持ってば周りに目が届きます。この周りに目を向けてお互いに尊重し合うことで、気遣いが生まれます。思いやりが生まれます。

周りの時間の速さに惑わされることなく、RI第2630地区岐阜Bグループ「合同例会・IM」、地域に密着した事業「ほたる祭り」、新会員との交流信頼を築く為、親睦委員会の企画、新会員のロータリーに関する理解を深める為、オリエンテーションの実施、職業奉仕事例集の発刊、インターアクト、ローターアクト等活動を支援。

クラブターゲット「ゆとり」を持って、この1年間100名以上の会員と共に取り組み、進行・発展に努めました。





**一年を振り返って**  
岐阜東ロータリークラブ  
会長 渡部 勝裕

会長職就任後、残すところ2か月となりました。  
今年まで健康にも恵まれ、ロータリーファーストで、あらゆる行事に、皆出席を続ける事が出来ました。  
今年度は、RI会長「ロータリー変化をもたらす」、2630地区田山雅敏ガバナー「未来を創造しよう」のメッセージを受け、私は、これまでの先輩諸氏が築き上げて来られた、伝統ある継承事業と改革を踏まえ、自主性を第一に推進して参りました。  
今期の例会を有意義にする為、3点を習慣付けました。  
1 例会時には何事にも、一味、一工夫を。②例会の事前打ち合わせ・時間管理を徹底。  
2 新人や欠席者への、一声掛け運動実施。  
そして、例会時に、私の手持ちCDから選んで、音楽を流し、楽しい雰囲気を演出しました。  
心残りは、親クラブとして、岐阜城ロータリークラブとの交流多角化を、推進出来なかった事です。  
10年後のロータリー。若手や女性にロータリーを受け入れてもらう為には、会社の様な上下関係を撤廃して、尊重し合う、パートナー関係構築が大切と思って、会長を務めて来ました。  
会員増強、あと2か月、ラストパートで頑張ります。



**一年間を振り返って**  
岐阜東南ロータリークラブ  
会長 片桐 勝弘

はやいもので残すところあと2か月となりました。会員数36名からのスタート、今期に3名の方が入会、しかし退会者、逝去された方があり2名減で純増1名で終わりそうです。今期は試行的に例会数を月3回にしました。例会を減らした分の経費は、新たな事業、2年後の創立45周年記念例会の経費の一部に充当するとともに、会員の個人負担の軽減を図ることができました。例会数の減による出席率の影響を心配しましたが、例年より高い出席率になっています。  
新たな事業としては、交通事故防止対策の一環として高齢者の方に、地元警察署の協力を得て反射タスキの配布、児童養護施設の子供たちに、クリスマスプレゼントとして、回転寿司に招待。  
会長を無事に務めさせて頂くことができましたのも幹事をはじめ、会員の皆様方のご協力のおかげで深く感謝申し上げます。



**一年間を振り返って**  
岐阜加納ロータリークラブ  
会長 横山 文夫

当クラブの今期1年は、合併、40周年、ガバナーエレクトに集約されます。  
当クラブは、2017年6月に旧当クラブと岐阜中山道ロータリークラブが合併しました。双方のクラブの会員が融和し、双方のクラブのよいところをどのように残していくかが課題でした。  
2つ目は、当クラブは、今期創立40周年を迎え、幾つかの周年事業に取り組みました。加納天満宮の鞍馬山車の丸提灯120張の奉納、1000名規模で開催した障害者を対象としたクリスマスコンサート、冊子「加納のまち」の製作配布等でした。  
3つ目は、当クラブの木村静之会員が、2630地区のガバナーエレクトに選任され、地区幹事の選任やガバナー年度への準備の外、次期ガバナーのホームクラブとして、クラブの整備や、中期目標を設定するなどクラブの改革・改善に尽力しました。  
7月からは、木村ガバナー年度が始まります。よろしくお祈りします。



**一年間を振り返って**  
岐阜エトスロータリークラブ  
会長 廣田 健二

私は、ロータリークラブに入会して5年目です。未だに分からない事が多いです。その様な中、会長エレクトを経て、今年度、会長として努めて参りました。年度が始まる前より、会長の仕事は始まっていました。理事役員・委員の構成、PETSへの参加、クラブ方針・年間プログラムの策定など、様々な事を会員の皆さんと話し合って決定しました。クラブ組織として良く出来た仕組がある会であることを実感しました。そして、年度が始まると、毎回の例会の挨拶において自分より年上の方々が中、何を話して良いのかを考えるのに苦労しました。試行錯誤した結果、最近では、自分の仕事などの近況をお話してロータリー活動に結び付けた内容となっています。時々、会員さんが、「挨拶上手に成ったね。」と褒めて下さり、とても嬉しい気持ちになって益々やる気になりました。  
最後に、会員全員が魅力あるクラブをと想い目指した結果、3名の新入会員さんを迎えることが出来き、そのまま純増となっています。会員の皆様に支えて頂きながら、ロータリークラブの会長とは何かを考えて行動した一年間でした。感謝致します。



**一年間を振り返って**  
岐阜城ロータリークラブ  
会長 江口 広康

本年度のクラブテーマを「会員増強」としてやってきましたが、増やす方は現在1名増、強くするという部分では、活動的には良い活動が出来ていると思いますが、将来への布石としての強さが持てていないと感じています。行事計画では、鮎の稚魚放流事業は2年目を迎え、岐阜市から協賛を得て約80名のお子さんと共に楽しく実施する事が出来ました。また長森中学の生徒さんとの交流会も2年目を迎え、「挨拶」というテーマで生徒さんと意見交換しました。交流出来た生徒さんには、社会に貢献出来る人になっていただきたいと切に思いました。そして文化研究例会では、今期は「華道」について体験を含めて学び、改めて日本文化の素晴らしさを知る機会となりました。計画通りに例会には卓話者も含め多くのビジターを向えましたが、残念ながら現在は1名増という状況です。最後まで目標の6名増を達成すべく、会員一丸となって取り組んでいきます。幸いにも例会出席率については、期初より出席率100%を維持しています。来期地区大会では、出席率100%で表彰を受ける事が出来るよう最後まで頑張りたいと思います。



**一年間を振り返って**  
大垣ロータリークラブ  
会長 傍嶋 重憲

一年という時間感覚は過ぎ去ってしまうと意外と短かったなと思える、人生のなかで妙に味のあまる間隔であるといつも感じます。  
会社決算でもそうであるが、あらかじめ立てた事業計画が計画通りに出来た期もあればそうでない期もある。その意味で目標達成のために更に中長期の事業計画の必要性が理解できる。  
言い訳になるが「満足のゆくクラブ活動が出来ましたか?」の問いに「はい!」と明確な答えは出来ない。その理由はいくつかありますが、なかでもイアン・ライズ会長が提唱されました「変化をもたらす」という目標はとても難解なテーマであった。  
具体的に何に変化をもたせられたのかと言えば、取り上げて言えるようなことはない。それでもあえて言えること、感じられたこととして個々のロータリアンのなかに「このままのロータリー活動を続けては先が危ぶまれるな」という時代感覚と危機意識が芽生えたことではないだろうか。  
大垣ロータリークラブ第67期のクラブ活動・変化へのご評価はロータリアンの皆様の率直なご意見に委ねたい。



**ロータリークラブの会長として一年を振り返って**  
大垣西ロータリークラブ  
会長 丸尾 謙二

大垣西RCは、「魅力的なロータリアンとその集まりであるロータリークラブを作り、魅力的な人がいるから入会したい、魅力的なクラブだから入会したい、魅力的なクラブだからずっと継続したい。」と言う「真の魅力的なロータリアンとロータリークラブを作り、会員増強や維持をしていく」を行ってきました。そのために、定款とクラブ細則をしっかりとチェックして変更すべきところは変えていき、単年度制の考えから、長期の運営管理をしていくリーダーシップのある人材を育成することを毎回、会長挨拶と委員長からの動画での説明や、奉仕プロジェクトを実行してまいりました。  
具体的には、1. 役員、理事、委員長は、諦観とクラブ細則を基本とした、3年長期計画書の活用を実行しました。  
2. 教育を、インターネットの動画や、資料で学ぶ方法を導入しました。  
3. 我がクラブのホームページを、日本でもトップラングまで上げていくことをしました。  
4. 障害者の方へバスケット用の車いす3台を贈呈しました。  
大垣西RCらしく、「明るく元気で楽しく風通しの良いクラブ」の伝統を守り、奉仕でピース、親睦でピースにダブルピースのウエスト(西ロータリー)が実行できたのではないかと思います。皆様の心より感謝申し上げます。



**一年間を振り返って**  
本巣ロータリークラブ  
会長 棚瀬 三之

今年度の会長テーマは「50周年を祝い、過去を顧み、未来を創造しよう」と致しました。新年度早々に2名の新入会員を迎え、幸先の良いスタートができました。年間の例回数を5回減らし会員の負担を少なくしました。下半期にはまた2名の新入会員を迎えることができました。特筆すべきは、ロータリー財団補助金を使ったダンスフェスティバルの開催でした。2月25日、会場の糸貫ぬくもりの里、いきいきホールは観客で一杯になりました。これを披露することで「地域社会の発展」に貢献し、ダンスを通して「自己表現力の養成」「青少年の健全育成」にも寄与できたと確信しております。今年度最大の事業、本巣ロータリークラブ創立50周年記念式典、祝賀会を5月13日、大垣フォーラムホテルにて執り行いました。田山雅敏ガバナーをはじめ多数のご来賓をお迎えして総勢130名にて記念式典、祝賀会が盛大に挙行出来ました事、改めて感謝申し上げます。最後に10%以上の会員増強が出来ました事、多少でも本巣ロータリークラブの未来を創造する礎になったと確信しております。2回目の会長でしたが前回よりも会長職を楽しめました。1年間ありがとうございました。



**一年間を振り返って**  
 羽島ロータリークラブ  
 会長 兼松 秋生

今年創立50周年を迎え、当初大変張り切っておりました。あれもこれもと考えていたのですが、長年の不摂生がたたりに、昨年9月から11月にかけて体調を崩してしまいました。そのため休会を余儀なくされ、会長として会員皆様にご迷惑をおかけし申しわけありませんでした。どうか健康体に戻り、11月の記念事業「おもてなしプロジェクト」や記念式典への出席、12月の記念家族例会そして今年4月の三クラブ合同記念ゴルフ大会への参加もできました。あと残る記念事業は5月予定の「厚切りジェイソン」氏の講演会だけとなっています。ここまでやってこられたことを思い返しますと50周年実行委員長様、幹事様をはじめ会員そして事務局の皆様へ感謝・感謝の気持ちで一杯です。

今期は複数の会員の方が退会され寂しい思いをしていますが、それにも勝る6人もの若い人達が入会されました。羽島クラブも少し雰囲気は違ってくる予感があります。また、これからもっと活気が出てくるかも知れません。ますます楽しみな充実したクラブになるよう、今期が終わっても先輩ロータリアンとしてしっかり盛り立てていこうと思っています。



**一年間を振り返って**  
 岐阜淡墨ロータリークラブ  
 会長 下島 孝道

今年度創立26目になりました岐阜淡墨ロータリークラブを背負い、2回目の会長の席に付かせて頂きました。創立当初35名から始まり、10年後は倍の人数にしようとして全員が張り切っていた時でもありました。当クラブの会員が一番多かった年度は、1994～95年度の44名でした。そして今年度は14名でスタート。

今年度のテーマに「何が何でも会員増強!」を掲げ、1年間やってきました。お歳まで2名の増強が出来ました。これも会員の皆様の努力の結果と思っております。が、まだまだ足りません。ロータリーの奉仕活動等々を行うには、最低20名の会員が必要です。いえいえ、ロータリーの歯車24個の人数は欲しいと思います。例会時の会長挨拶や、IDMでも会員増強をテーマに耳にたこが出るほど話しをしておりますが、なかなか増強できないのが現実です。

しかし、少人数のクラブではありますが、海外では双子クラブである台湾の彰化東南扶輪社を訪問したり、国内では三重県の姉妹クラブ松阪山桜RCと合同例会を行うなど、毎年交互訪問して交流を図っております。また地域では、毎年7月には恒例となっております淡墨公園清掃例会、10月には幼児療育センターへのロータリー文庫書籍寄贈例会、今年3月には真桑文楽子ども浄瑠璃鑑賞例会を行うなど、ロータリー精神ののっとり活動しております。

当クラブは、岐阜西濃グループ内が一番小さなクラブですが、会員一丸となって常に努力をしております。



**一年間を振り返って**  
 不破ロータリークラブ  
 会長 小野 彰

不破ロータリークラブ第48代会長を仰せつかり半年前から準備を行い、昨年の7月より山田ガバナ・藤井ガバナ補佐の下活動に入りました。

8月26日に不破ロータリークラブのメイン活動「中学生の英語によるわが町自慢スピーチコンテスト」を行い、9RC合同例会、地区大会、家族同伴移動例会と主な事業が終わったところで2名の退会届が出てきました。何とか思いどまるよう経験年数の多い方からも説得を行ったのですがどうしても無理ということでやめられました。また、仕事の都合などで3名の休会届も出ました。この時ロータリーとはこういうものだと言う事を教えられましたが、私は変化も必要ではないのかなと今も思っています。会員増強につきましても80%入会OKの人も最後には家族の反対で没になるなど苦戦しております。会長というのはやはり大変なのですがロータリークラブに入らなければこのような経験をすることはできないと思います。私も少しは成長したのかな?

最後に不破ロータリークラブのバスト会長で48年出席の会員からの一言で締めさせていただきます。  
 「私の例会での楽しみは会員の卓話で、世界でただ一人その人しか話せない卓話を聞くことは何よりも楽しいのです。」



**一年間を振り返って**  
 岐阜サンリバーロータリークラブ  
 会長 神野 広美

昨年3月のPETSから本格的に会長としての心構えや、我がクラブの事を真剣に考えて向き合うことで、一會員の時には思ってもいなかったクラブのあるべき姿を模索する機会でもあり、会長という立場ならではの実感しました。

RI会長、山田ガバナ、藤井ガバナ補佐のご指導の下で、未来に向けて変化をし、変えるべきを変えて、魅力あるクラブにすることが本当に大切であると痛感しました。しかし、一年の期間で実現可能なことも限られる中、10年後を見据えた継続的な取組みが必要だと思いました。

今期は、2名の新入会員に入会頂いて20名でスタートできました。途中入会はいりませんでしたが、永遠のテーマである会員増強を、女性会員が多いクラブの特徴を活かして増やしていければ、大きな魅力にもなり、継続的に一丸となって取組も課題が明確なのは、有難いことでもあります。

今期がスタートして早々の8月に、記念すべき第40回インタークラブ年次大会を地元の海津市で600名程をお迎えして盛大に開催することもできました。また、9月には創立25周年記念式典祝賀会を名古屋で無事に開催できたのも、少数精鋭の多士済々、心強い会員の支えがあったことと改めて感謝申し上げます。

たくさんのロータリアンのお陰であり、エンジョイできました。本当にありがとうございました。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
 大垣中ロータリークラブ  
 会長 吉田 知尉

大垣中ロータリークラブ会長の大役を賜り、職務を全うしようと努力を重ねた1年間でした。私は20年間ロータリアンとして活動してまいりましたが、会長に就任するに当たり、初心にかえり、ロータリーを勉強し直し、例会での会長あいさつはロータリーについて一言触れることを目標といたしました。

毎回、ロータリーを復習することでその崇高な理念を再認識するとともに、会員の皆様と共有できたと確信しております。

また、尊敬できる素晴らしい方々に囲まれ、助けられながら、良い雰囲気の中で交流が深められ、新たに3名の同士が加わりました。

今後とも素晴らしい大垣中ロータリークラブ、会員の皆様と親睦を深め、ロータリークラブの発展に微力ながら貢献できれば幸いです。

最後になりましたが、理事役員並びに会員の皆様をはじめ、多くの方々に支えられて無事に会長を務めることができました。有り難うございました。



**一年間を振り返って**  
 多治見ロータリークラブ  
 会長 土本 公彦

「融合そして格調」を会長の掲げたテーマとして進めてきたこの1年ですが、在籍3年未満が多い40歳代会員と70歳以上のベテラン会員との繋がりが親睦活動、奉仕活動、そしてそれによる準備委員会等のミッションを全員参加型でプランニングしていく事によって、幅広い年齢層であっても会員相互の融合が図れたかと思えます。

次に多治見ロータリークラブは今年創立63年を迎え、格式ある伝統が引き継がれてきました。近年、その歴史ある伝統も会員の世代交代などで薄れつつある中、多治見RCの良き伝統を継承すべき例会に心掛けて参りました。それによりクラブテーマに少なからず近づいたように思います。

今年度会長を経験させて頂いた事で会社のトップと言う考え方は違う一つのグループのリーダーとしての考え方も勉強になり人生のいい時間を経験させて頂き感謝しております。



**一年間を振り返って**  
 大垣センチュリーロータリークラブ  
 会長 可兒 一善

2017年から2018年の会長を務めさせて頂きました。本年度は、「ロータリー変化をもたらす」のRIテーマのもと、地区テーマとして「未来を創造しよう」サブテーマとして「10年後のロータリーは」をもとに、活動を行ってきました。

わがロータリーは、人員構成において諸先輩と若手会員が多く歪な構造をしていて、その間での意思疎通が課題と思われています。また、高齢の退会者も目立つようになり、新規会員の増強が急務となっています。

本年は、会員増強を行うと共に、会員相互の親睦を図りながら例会を充実を図る必要があり、少しでも役に立つ、共感ができる例会を提供してきました。

皆様のおかげで、4名の新会員を得ることができ、あとは、退会者を極力少なくするだけとなっています。また、今年度は若手を中心に組織編制をし、諸先輩を相談役、ご意見番役になって貰うことで運営を行ってきました。

次年度からは、次のステップに当たる、若手を中心とした行事の見直しや、新規会員の増強を行いながら「10年後のあるべき姿」を確立してゆけるものと確信しております。

1年間を通して貴重な経験をさせて頂き感謝しております。今後は、この経験を若手の支援活動に使えればと考えております。ありがとうございました。



**一年を振り返って**  
 中津川ロータリークラブ  
 会長 林 彰

私にとって一番にあげたいこと。

その前夜は、雷と共に激しい雨の中津川でした。しかし、明けて4月2日の創立60周年式典では、多くのゲストをお迎えしたい私達的心が通じ、素晴らしい天気になりました。諸先輩から引き継がれてきた奉仕の精神が、昭和33年からの節目の日となります。田山雅敏ガバナは、地域のリーダーシップクラブとして活躍を期待すると祝辞を頂きました。活動と共に近隣クラブ役員、多くのご来賓と共に祝賀は、盛大に進み、思い出に残る日となりました。

二番目は、昨年の7月20日の台湾三重扶輪社へ私達35名で公式訪問です。国際姉妹クラブとして継続的印刷式創立50周年記念式典をお祝いました。49年に渡る姉妹活動から、メンバーの中には親子2世代に渡る友好の歴史を刻んでいます。今や、私たちの日々の生活は、常にグローバルの中にある両クラブの財産です。

三番目は、10月7日から4週間、日本画の巨匠である前田青荷画伯の特展、出前講座です。地域の青少年や市民に「中津川の記憶遺産」として呼び戻そうと、今後への道筋に期待が膨らみます。

中津川ロータリークラブは、これからも奉仕の志を同じくする仲間を増やし、明日に繋いで行きます。今年度の事業が、素晴らしいメンバーの連携とご尽力を支えられ活動出来たいへん嬉しく思います。この一年を振り返って、皆さんに心より感謝を申し上げます。







**一年間のロータリー活動を振り返って**  
関ロータリークラブ  
会長 後藤 信介

今年度の関ロータリークラブ活動を振り返りますと、昨年50周年記念事業並びに式典が過ぎ、60周年に向けてのスタートの年であることから、クラブテーマを、温故<50>知新とし、長期計画をたて、事業を進めて参りました。8月ガバナー公式訪問3クラブ合同例会を主幹、3月、3クラブ合同花見例会の主幹、第18回高木守道杯関市中学校軟式野球リーグ戦、第3回朝日大学ラグビー部員によるタグラグビー教室、安桜山遊歩道の清掃活動。二つのロータリー財団地区補助金事業として①安桜山遊歩道案内看板の設置、②財団奨学生として、ウイーン国立歌劇場第一期コアアカデミーの瀬川恵理子さんへの支援。国際奉仕として、ベトナム国の小学校へサッカーボールを寄付。関ロータリークラブ例会2500回記念事業で安桜山遊歩道に桜の植樹と記念例会の開催、大変多くの事業を開催させて頂きました。会員増強では、新会員7名の入会、久しぶりに50人を超えるクラブとなり、平均年齢も54歳とバランスの取れたクラブだとおもいます。こうして多くの事業が出来たのも、手作りのクリスマス例会、親睦旅行など、会員同志の親睦が非常に図れたおかげだと思います。最後に副会長、幹事、各委員会の活動も積極的かつ活発に行動して頂きまして、よりお互いを理解しあえたことで、会員同志の絆が深まったとおもいます。本当に一年間ありがとうございました。感謝申し上げます。



**一年を振り返って**  
郡上八幡ロータリークラブ  
会長 西川 昇

昨年7月に郡上八幡ロータリークラブの会長に就任させて頂いてから早いもので任期を迎えるところまで進める事が出来た事につきましては、会員の皆様方のご理解ご協力のおかげと感謝とお礼申し上げます。  
青少年奉仕委員会では昨年度までは市内の青少年活動への支援協力でしたが、今年度は新たに夏の野外行事として8月に会員の子供達を招いてあまごのつかみ取り、バーベキュー大会を行いました。子供が無邪気な姿で遊ぶ姿を見ると、次世代を担う子供の教育に携わることの責務を感じました。  
社会奉仕委員会では、今年度新たに美化活動として地域の安心安全を24時間365日見守って頂く事に感謝とお礼を込めて、10月に郡上警察署の植木の剪定や草刈り作業を行い限られた時間のなか、当初の目的を充分に達成し充実した作業でした。  
1月に地区会員増強研修セミナーに参加し会員純増3%を目指す！という目標を頂き、増強委員長・会長・幹事は元より会員全員目標に向かって邁進することができ、このたび2人の新会員が4月に入会して頂き目標を達成することが出来ました。  
今年度1年間、緊張と弛緩を与えて頂きました会員の皆様に感謝申し上げます。こうした経験が私の一生の財産になるのではないかと思います。



**一年間を振り返って**  
関中央ロータリークラブ  
会長 波多野 好文

今年度、クラブのテーマを「親睦からのロータリー」としました。奉仕活動の根源は親睦ということで、クラブ内の親睦、地区内3クラブの親睦、グループ内8クラブの親睦を深めることを、目標としました。クラブ内では新たにバーベキュー例会を設け、地区内では恒例の3クラブ合同花見例会等、親睦がはかれたものと自負しています。  
又今年度はIMを開催しました。早くから特別委員会を立ち上げ、議論を重ね、11月に「今できること」～地中熱利用を考える～をテーマに、田山ガバナー様、村橋バスターガバナー様を始め、100名を超える参加者で盛大に開催できたことはいい思い出です。関係者の皆様に感謝申し上げます。  
8月の花火大会後の清掃早朝例会や11月の森林整備例会・長良川流域クリーン作戦例会が滞りなく終わったのも、委員会の皆様の努力と感謝します。  
台湾景文高校と関商工高校の交流で、今年は台湾よりの受け入れの年で、大変のしみにしていたのですが、都合により中止になり非常に残念です。  
会員の増強は、目標を純増1名としていたのですが、1名の方が退会されて、2名の方を入れなくてはならなくなりました。4月下旬現在まだ1名の入会もありませんが、残り2ヶ月努力したいと思います。  
会長として、貴重な体験をさせて頂きました。どうも有り難うございました。



**一年間を振り返って**  
郡上長良川ロータリークラブ  
会長 原 義明

今年度、郡上長良川ロータリークラブは創立40周年を迎えました。クラブテーマとして「感動を求めて 今すべきことは」を掲げ、9月に記念事業を開催致しました。吉田沙保里さんと栄監督のトークショー、写真家 松永知恵美さんの「いのちをありがとう」の写真展を行いました。なお写真展においては事前に市内8つの中学校にて、少しでも生徒の皆さんに見ていただきたく、ミニ写真展を巡回して行いました。記念事業当日は台風が近づいており、大変心配したのですが、1000人近くの市民の皆様にご来場いただき、会員一同感激致しております。  
会長としては、他のクラブの会員とお会いする機会が増え、お付き合いが出来たことは大変良かったと思います。  
会長の1年は終わりますが、今後も積極的に協力したいと思います。会員の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



**一年を振り返って**  
各務原中央ロータリークラブ  
会長 鍵山 和昌

昨年7月より、会長職を受けさせて頂き、早一年が過ぎようとしています。長かったような短かったような思いです。  
今年度のRI会長のテーマ、「ロータリー：変化をもたらす」  
地区ガバナーのスローガン、「未来を創造しよう」  
を、念頭にクラブ運営が出来ればと邁進しようとの思いで始めました。当クラブの会員構成は、在籍20年以上の会員が約半数を占め、在籍5年未満の会員が約半数というクラブです。経験豊かな会員のロータリー知識、精神を経験の浅い会員へ上手く継承し、クラブの伝統を尊重しながら、新しい会員の創造力と力を融合させクラブに変化をもたらせ、未来に繋げるクラブにとの思いでした。クラブの未来を考えると会員増強が不可欠であります。現時点での今年度の会員増強は、退会1名、入会2名の純増1名となります。増強への取り組みが出来ていなかったと反省しています。  
会員増強には、魅力あるクラブづくりが必要です。今後は、クラブの特色を活かし入会したくなるようなクラブにするには、どうするかを考え、クラブ運営に尽力したいと思います。



**一年間を振り返って**  
各務原かかみのロータリークラブ  
会長 重谷 一郎

2回目の会長でしたが、この1年はあっという間でした。継続的に新会員が入会し世代の新陳代謝が進んでいけば、2回目ということは無いのですが、クラブを取り巻く現実には厳しく、なかなか会員を増やせずにいます。それでも、会長経験者も多く、奉仕活動の方は立派に進みました。  
当クラブは、市内全中学校の吹奏楽部が練習の成果を披露する場として「合同音楽演奏会」を毎年主催しています。加えて秋に、中学生ボランティアと力を合わせて「盲導犬育成募金活動」を行っています。どちらも継続事業で、将来を担う子どもたちの健全育成に一役買っており、これが当クラブの事業の特徴と言えます。  
しかしながら、会員が増えない現実を直視すると、その継続に黄信号が灯ります。市内3クラブはどれも同じ悩みを抱え、過去には合併や事務局統合の話が出ましたが、カラーや歴史が異なり、むしろ会員減少になりかねません。合流は、小異を超えた対等の「ガラガラボン合流」でなくてはなりません。これならば、共にロータリーの尊厳を確認でき、現会員も喜んでロータリー活動を継続してくれる気がします。今後の選択肢の一つとして欲しいと思います。1年間ありがとうございました。



**一年間を振り返って**  
高山ロータリークラブ  
会長 小林 一輝

1年間を振り返りますと只々、幹事をはじめメンバー皆様のご協力に感謝、感謝です。  
魅力的なロータリー活動を目指して「高山ロータリーを楽しもう」をテーマに活動してきました。  
結果としては、  
①楽しめる例会、出席率の高い例会をイメージし、従来の夜例会に加えオリジナルな夜例会を3回開催できました。  
②地区の情報やクラブに反映することや他クラブのメンバーとも繋がっていたように、バスターガバナーのほかに若い会員2名に地区への出向をお願いしました。  
③会員増強について委員長の頑張りのおかげで現在、7月1日入会予定者を含め5名の純増となり、13%の増強となります。当クラブにはホームページがありませんが、会員増強についてもホームページは、重要な増強ツールであることを改めて認識し作成に着手しました。  
会長を受けさせて頂いた時は、大変な役だと重荷に感じていましたが、終わりに近づいてみますとメンバー皆様のご支援のおかげで、やりがいのある役だと感じることに変わりました。  
一年間、ありがとうございました。



**2017～2018年度ロータリー活動を振り返って**  
下呂ロータリークラブ  
会長 大森 清雄

青少年交換を軸に伝統的な事業を中心とし、本年度も数多くの事業を展開することが出来ました。前記事業やインターアクトクラブへの支援では、ホストファミリーの方々並びに地元高校に多大なご協力を頂きました。また、下呂市内小中学校の桜のてんぐ巣病駆除作業や義務教育から高校生までの12年間皆勤表彰は地域に貢献できる機会として今後も続けていきたいと考えています。今年度のRIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」に繋がる事業として取り組んだ下呂市の健康を考える事業は、行政と連携し、医療関係、地元小学校、PTAなど多くの方々にご協力いただきました。なかでも健康フォーラムでのインターアクトクラブによる健康食を考える活動発表には多くの市民から反響を得ることができました。市内企業や団体への減塩食の試食なども行いそれらを通じ、市民の健康への意識を「変える」に繋がったと思います。会員1名増やたくさんの方々の事業に取り組んだことによりロータリー活動の地域へのアピールやクラブ内の意識の変化にも繋がりました。関係各位、会員の皆様のご協力により一年間無事全ての事業を遂行出来ましたこと、心より感謝いたします。ありがとうございました。





**一年を振り返って**  
高山西ロータリークラブ  
会長 米澤 久二

7月からのクラブの目標を全員の創意と工夫で「わくわくするロータリー活動」と考えて活動して参りました。クラブの活動をより活性化させるには、例年と同じことばかりを繰り返さず新しいことに挑戦することが大切だと思ひ、皆で考え、知恵を出し合つて新しいことに挑戦しましょう、と活動してきました。

具体的には交換学生を巻き込んだ度重なる家族例会・夜間例会の開催、親子連れ約400人が参加された雪遊び、などなど…、本当に皆さんが知恵を出し合つて新しいことに挑戦していただきました。

嬉しかったのは、会員の皆様が当事者意識を持って積極的にロータリー活動へ参加していただいたことです。そしてロータリー活動への取り組み姿勢を強くされ、高山西ロータリークラブの足腰が強くなったと思います。まだまだ、やり残したことはたくさんありますが、これからは会員の皆様が意欲を持ってロータリークラブの活動に参加されると思っております。本当に会員の皆様 一年間ありがとうございました。



**一年間を振り返って**  
高山中央ロータリークラブ  
会長 中田 専太郎

根を詰めてRC活動に取り組んでいる内に、また、次々と押し寄せる課題を必死になつてこなしている内に、気が付けば、はや任期も余すところ2ヶ月を切つてしまいました。

任期は、昨年7月初日から本年6月いっぱいまで。なのに実際には一昨年の12月には幹事共々始動して参りました。会長と幹事。会議の場所は決まってファミレスの同じテーブル。遅めの夕食とドリンクバーをそれぞれがオーダーすると、早速会議開始！ 幾たび足を運んだことか！ お陰様でファミレスのメニューは一通りいただきました。勿論ドリンクバーの方も含めて…。ついつい議論が熱くなって、喧嘩になったことも度々。自分達の任期中にこれだけは変えよう、新設しようとか密かに話し合ったことも多々あります。その全てがうまく行ったわけではありませんでした。うまく行ったこともあります。あの時々の喧嘩が功を奏したのかな？ 本当に幹事には、よく辛抱してハードな仕事をこなしてくれたものです。

そして1年間応援してくれた会員のみなさん。  
「ほんとうにありがとうございました！」



**一年間を振り返って**  
美濃加茂ロータリークラブ  
会長 山田 彰

記念すべき50周年という節目の会長をお引き受けし、早いもので1年が過ぎようとしております。会長エレクト時より記念事業・記念式典の企画開催、インターシティミーティング主管、そして交換留学生の受入れなど、通年より多くの事業をこなさなくてはならないことは承知して参りました。しかし会長となり各事業をおこなう際に、あれやこれや打合せ不足で戸惑う事がありました。こんなときは何時も、幹事はもとより先輩者から励ましのお言葉をいただき、深く友愛を抱くことができましたことは、とても価値ある年となりました。

34年前(昭和58年9月28日)に見舞われた「美濃加茂大洪水」で、紛失したクラブ記録が、元会員より50周年の期に資料提供がありました。本資料は川砂に浸かったものでありましたが、写真やクラブ事務局関係の想い出となる記録、そして先人らは定例会をメンバー社屋にて開催したなど貴重な実話を聞くことができましたことは、クラブメンバーの宝となりました。

本年は会員拡大を目指し活動ビジョン策定をしました。5年後10年後の活動が、点から線に方向性を持たせた策定年度となりました。



**一年を顧みて**  
桑名ロータリークラブ  
会長 岡田 順二

我がクラブの継続事業は少年野球大会、高校生への奨学金贈呈など青少年を対象にしていることもあり、10月のIMでは山口県柳井RCバスト会長でボイスアウト日本連盟理事の村上智真氏に青少年育成について講演して頂きました。年明けには交換留学生を8年ぶりに迎えました。久しぶりで戸惑いましたが、桑名高校並びにホスト家庭のご協力を仰ぎ一年間尽力します。退会者の発生は残念ではありますが、2名の新会員をお迎えできましたのでマイナスは避けられそうです。

今回は、例年以上に会長幹事によるクラブ訪問や下半期の合同例会を行うなど交流を重ねて参りましたが、他のクラブの活動から多くを学ぶことができ異議深いものになりました。我がクラブ以外の3RCは間もなく周年式典を挙行されます。ご成功と更なる飛躍を祈念して参ります。

残り僅かとなりましたが、最後まで心を込めて会長の務めを果たして参ります。至らぬ私を支えて下さいました会員の皆様へ心より感謝申し上げます。



**一年間を振り返って**  
可児ロータリークラブ  
会長 藤井 辰巳

気が付けば、1年が過ぎようとしています。2017年3月、近隣の可茂ロータリークラブ会長エレクト柴田様と一緒に、会長エレクト研修セミナーに出席致しました。

一泊二日の予定ということで、一日目が終了してからは初めての伊賀の夜を過ごすことができ、大変楽しい思い出となっております。又、一緒に研修を受けました他クラブの会長エレクトの皆様とも知り合えたこと、これらのことが自分の中では一番の財産となり残っております。ありがとうございました。

いよいよ7月新年度となり、活動が始まりました。可児ロータリークラブ最初の事業、奉仕プロジェクト委員会担当の可児ジュニアゴルフスクールへの協賛。委員の皆さんの尽力により、会員全員参加として成功の内に終えることができました。又、10月には姉妹提携をしています、韓国の南富川ロータリークラブからの訪日準備、当日の案内等適切に対応してくれました。ご苦労様でした。

振り返ってみると会長としては、例会における会長の時間の原稿作りだけで過ぎて行ったような思ひもします。このような会長を支えて頂きました2630地区の皆様、有難うございます。心に残る一年間でした。この「縁」を大切にしながら、これからも活動を続けて行きたいと考えます



**一年を振り返って**  
桑名西ロータリークラブ  
会長 村尾 憲

40周年という記念すべき節目の年を経験豊かで素晴らしい理事、役員、委員長の皆様を支えられ、また、会員の協力を得て例会をはじめとした事業を実施してまいりました。

ロータリーの活動を一般の人々に理解、周知いただくために、ショッピングモールでの指導犬育成啓蒙活動、財団資金を利用したアジア地域での眼科治療援助の写真パネルの銀行での公開等、また、30年続けています新進音楽奨励賞の募集選考について等を新聞に掲載頂き広報にも結果を残すことができました。また、4月には桑名市民への感謝を込めて実施しました40周年記念ビアリゾートが、会場を満席にし、多くの人々に喜んでいただきました。

会につきましては、細則の改正を承認いただき次年度より組織等の見直しつなげ、今年度は、会員増に至りませんでした。これを50周年に向けて今後の一筋の道を点けられたと思っております。

会員皆様のおかげで1年を盛り上げて頂き、感謝に耐えない1年でありました。今後も、会員が喜び、家族が喜び、地域にも喜ばれる、永続し発展するクラブであるよう努めていきたいと思っております。



**一年を振り返って**  
可茂ロータリークラブ  
会長 柴田 達美

可茂ロータリークラブは3年前に30周年を迎え今年で32年目になりました。

3年前の会員数は16名でしたが現在は7名となりました。

今年「会員基盤の強化をはかりよう」をテーマに掲げて一年間頑張つて参りましたが女性会員の申核となる会員が退会され他の3名の女性会員も辞められ7名となり、何とか継続出来ないかと濃飛グループガバナー補佐のアドバイスを頂いたり、再三話し合いをして参りましたがさすがに7名では継続が出来ないと閉会の結論に達しました。近隣クラブの可児RC、美濃加茂RCの方々には大変お世話になりました。又、ご指導頂いた歴代ガバナー、役員、ロータリアンの皆様へ感謝申し上げます。長い間有り難うございました。



**一年を振り返って**  
桑名中央ロータリークラブ  
会長 坂 新太郎

我々のクラブは今年で25年を迎えています。歴代の会長をはじめ先輩方の重みを感じながら例会や役員会を進め 早や一年が経とうとしています。今年度私共のクラブテーマを分かり易く感じてもらう意味も込め 会員の増強と地域社会への奉仕といたしました。これは25周年から30周年に向かって会員を増やす事は当会の今後の力になる事と地域の皆様に良い事を行う行動は次に継ぎます。プラスのイメージアップと当クラブ会員同士の寛容・慈愛・忍耐とのボールハリス氏からの言葉から受け取れます。お陰様でこの難しい時期にも関わらず会員増強委員長の力で2名の増員、奉仕プロジェクト委員の皆さんでお世話になり継続事業ではありますが桑名吹奏楽団定期演奏会の援助、桑名地区少年サッカー選手権大会の開催そして今年現地サッカー場へ特別にベンチ6脚を設置いたしました。又、台湾三重RCの創立55周年記念式典に出席。そして今年5月12日には創立25周年記念式典をホテル花水木会場に於きまして桑名市長をはじめ多忙なところ2630地区田山ガバナーをはじめ幹事、バストガバナー他、多くの方に出席していただき華やかに式典を行うことが出来、本当のありがとうございました。最後になりますが素晴らしい経験を積み事ができ、会の役員や皆様のお陰で一年間を終る事が夢のようです。ありがとうございました。



**一年間を振り返って**  
桑名北ロータリークラブ  
会長 柴田 佳幸

会長職の拝命を受け、浅学非才の身ゆえ「ロータリーの学びの1年としたい」として新年度が始まりました。

歴史あるロータリークラブの伝統を学び、そこから現況に合うように変化させ、対処する「寛古考新」をテーマとして会長挨拶にてロータリーとは何ぞやと基本的なことから会員と共に勉強させていただきました。

今年度、我がクラブは創立20周年を迎える節目の年であり9月に記念事業として名電工吹奏楽部と地元吹奏楽部に所属する中学生との共演とポリオ募金が成功裏に終わり、あらためて会員の底力を垣間見ることが出来ました。また、今期は各委員会が自主的な会合を持ち、この有能な人材の集まりと共に活力ある素晴らしいロータリー活動を行えた事は私にとって貴重な経験であり、この一員である事を誇りに思っております。

これから先我がクラブが魅力あるクラブへと発展することを願い次年度会長へバトンを渡します。



**一年間を振り返って**  
四日市南ロータリークラブ  
会長 山路 忠

顧みますとイアン・ライズリー RI会長のテーマ「変化をもたらす」は私にとって大変な打つものでした。昔ダーウィンは環境の変化に順応するものだけが生き残ると言いました。まさにロータリークラブも自信が変化し、地域に変化をもたらさなければなりません。前回の規定審議会の決定に従い、私たちのクラブは入会金を無くし、例会の開催は月3回以上に変更しました。これにより、若い方が入会しやすくなるだろうとの予想によりこうしました。また、佐久間AGも各クラブに平均年齢を1年後でも増やさないことを目標としました。今年度は58歳・44歳・38歳・36歳の4名の入会があり、年度初めには65歳であった平均年齢は2018年6月末では63歳まで下げることに成功しました。また、RI第2630地区四日市グループのIMが2017年9月9日土曜日に四日市都ホテルで当クラブ主催にて行われました。たくさんのお来賓及び特別参加者のうち森四日市市長と山田雅敏ガバナーの挨拶、各クラブの活動経過報告等がありました。中日新聞社の小出主筆により「日本のすがた」のテーマで講演を戴きました。一年間皆様の援助にて遂行できたことを感謝致します。



**一年を振り返って**  
四日市ロータリークラブ  
会長 矢野 正剛

本年度第74代会長として「楽しくなければロータリーではない」「楽しいだけではロータリーでない」の下にクラブ運営を心掛けました。例会活動を充実し会員の親睦と研鑽を図り会員個人の方々を持たれる人生の充実と満足を得る活動を心掛けました。例会出席を義務感とするのではなく出席したいと思えるようなプログラムや親睦活動を各委員会が実践していただき、会員数が100名近くのクラブで100%例会を5回達成いたしました。会員増強も会員皆様が奔走いただき何とか実像が図れることになりそうです。歴史と伝統のあるクラブですが会員間の和気あいあいの雰囲気はこれからも続いていくことであると確信いたします。

会員の皆様には温かい目で支えていただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



**一年を振り返って**  
四日市東ロータリークラブ  
会長 田中 淳一

田山ガバナーのスローガンでもある10年後のあるべき姿を常に考え「未来を創造しよう」でスタートした会長職でありました。時代の流れに合わせ10年後のクラブ運営を見据え、平均年齢を下げる事を目的とし、若い仲間を求めて増強に尽力いたしましたが、不本意ながら任期中に結果を残すことが出来ませんでした。しかしながら増強につきましては、単年度で結果を出すことは考えず、種まきをした状態で次年度に引継ぎをしていきたいと考えております。

クラブの運営では、諸先輩方が長年にわたり作り上げた事業やしきたりなどを幹事とよく相談しながら安易に規則など緩めることなく円滑に進めることができたものと思っております。

私自身、入会して20年余りになります。今後は、これまでの経験をもとにロータリークラブの本当の良さなどを、いろいろな方々に周知していただくべく邁進する所存です。



**楽しく華やかなロータリー**  
四日市北ロータリークラブ  
会長 太田 真理

当クラブは、今年度59周年を迎え来年度は60周年・人で例えるなら還暦ととてもおめでたい長い歴史のあるクラブでございます。

そのようなクラブで女性として初めて会長を務めさせていただき、身に余る光栄でございます。

今年は、初心に戻り「会員増強」に力を入れておりまして、純増10%を達成することができました。会員の皆様のお蔭でございます。

当クラブは、女性会員が全体の25%を占めており全員揃うととても華やかなのも特色でございます。

今年度は「みんなが主役」という四日市北ロータリークラブ独自のスローガンを掲げ、入会歴の長い会員も短い会員もすべての会員が主役となり、とても楽しくロータリー活動ができました。この楽しい雰囲気を活かし次年度に繋げていきたいと思っております。

会員の皆様には暖かくご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。



**一年を振り返って**  
鈴鹿ロータリークラブ  
会長 北瀬 雅博

私にとっていつもと違う長い一年。会長年度を、この寄稿を契機に振り返ってみます。

新入学児への防犯ホイッスルの贈呈は8年目の継続事業・災害等非常時用の備蓄用羊羹の事業は再開事業、そして、出前講座「おじさん先生」も、提携先の飯野高校を含め複数の派遣を行う事が出来ました。

内部的には、出席意識の高揚に繋がればと例会時間外の委員会開催を奨励したところ、望外の参加者数を得る事が出来この辺りに内部充実への突破口があるのかなと感じました。

色々な事業に取り組んだ中で、一番印象に残っているのが「ロータリー文庫」の開設です。財団補助金を活用して市立図書館への贈呈の事業です。その贈呈式典の際に行った幼稚園児への読み聞かせが予想だになかった反響を呼び「子供食堂」でのインターアクトクラブ員による読み聞かせの会の取組みへと進んでいます。大変、嬉しいことです。

色々あった一年ですが、私にとっては最高の人生勉強をさせて頂きました。

最後に、幹事ははじめクラブ員の方々に感謝申し上げます。



**一年間を振り返って**  
四日市西ロータリークラブ  
会長 伊藤 康彦

率直な感想として、「あつという間の一年間」でした。

まず、本年度に重点を置いたことは、ロータリークラブとしての例会運営を「研鑽の場」と位置付け、より正確正しい例会のあり方を会員で話し合い、進めてまいりました。

社会奉仕活動としては、7月に恒例となりました、児童養護施設エスプランス四日市の子供たちとの一日里親活動を行い、今年度も子供たちのあふれる笑顔に会うことができました。職業奉仕活動では二度の職場例会を開催し、会員企業の訪問を行い、国際奉仕活動としては、台湾の姉妹提携クラブとの青少年短期交換プログラムを今年も行い、派遣学生がそれぞれの国の文化を感じ、将来の夢の構築の一助になったことと思います。他にも、恒例の年間行事や同好会活動など会員の総力を注ぎ込み、有意義で素晴らしいものになりました。

また、本年度は四日市グループ親睦ゴルフ大会の主管、台湾新店扶輪社創立35周年記念式典への参加など、例年以外の事業もあり、慌ただしい一年でもありましたが、大変楽しく有意義に過ごすことができました。改めて、ご指導いただきました関係各位、クラブ会員皆様に感謝申し上げます。



**一年間を振り返って**  
鈴鹿西ロータリークラブ  
会長 川岸 光男

昨年7月より鈴鹿西ロータリークラブの会長を引き受け、責任の重大さを思い知らされました。私自身、年齢だけは高くロータリー歴は浅い、まったく自信のないまま引き受けしてしまいました。さらに当クラブは8月に開催されるIMの担当クラブでありました。

IMには毎年参加しておりましたので、内容については理解しておりましたが、鈴鹿・亀山グループのロータリークラブの皆様が協力をしていただけるのか、何を目標に開催するのか、一抹の不安がありました。我がクラブが中心となり、各ロータリークラブとの活動を共有できるIMを目指して開催する事でした。何度も打ち合わせを行い、河田ガバナー補佐と一緒に中味を作り上げました。各クラブの活動内容や、これからのロータリー活動のあり方など、意義のある活動発表でした。

最後に田山ガバナーより講評をいただき無事終了致しました。これもひとえに我がロータリークラブの会員の皆様のご協力のお陰です。これが私にとって活動のスタートでした。

今、日本や世界は政治や経済の変化は激しい時代にあります。これからもロータリー活動の目標に向かって行動してまいりたいと考えております。





**一年を振り返って**  
 鈴鹿ペイロータリークラブ  
 会長 大泉 博典

この1年間、河田勝正ガバナー補佐様のご指導のもと、会員や幹事の皆さんに支えられ計画通り活動を終えることができましたこと厚くお礼申し上げます。  
 行政や他の公的機関、市民団体等と連携を深めさせていただきました。  
 2017～2018年度の事業としてF1日本グランプリでの友愛の広場を開設させていただき第26回鈴鹿ペイロータリークラブ杯柔道大会の開催そして小中学校との連携した鼓ヶ浦海岸の環境保全活動「羽衣並木復活作戦」の実施と中学校への「おじさん先生」の講師の派遣をさせていただきました。  
 又7ペイ友好会（東京ペイ、神戸ペイ、館山ペイ、横浜ペイ、釧路ペイ、浦安ペイ、鈴鹿ペイ）を大阪の地で神戸ペイRCサミット会議を開催されました。今後は、会員の増強に向けて、皆さんと共にさらなる努力をしてまいります。  
 又、会員の皆さんそして幹事さんの協力のお陰で一定の成果を上げる事ができました。本当にありがとうございました。



**一年間を振り返って**  
 亀山ロータリークラブ  
 会長 伊藤 健一郎

昨年7月から会長を拝命し1年が過ぎようとしています。亀山RCに入会して7年目で大役を託され全うできるか非常に不安でしたが、会員の皆様に支えられ、会長としての役目をなんとか果たせそうです。  
 当クラブでは、毎年1月末に開催される亀山大市で、青森県五所川原市の名産品の販売や亀山高校インターアクトクラブと一緒にポリアオ減の募金活動など行なっております。今年は、五所川原市から2名参加して頂き、共に名産品の販売をいたしました。ロータリー活動を通じて地域社会に貢献できることを改めて実感しました。  
 今期は1名の増強ができ、今後も奉仕活動に積極的に参加し、ロータリー活動を広げて行きたいと思っております。  
 今年一年の皆様のご協力に感謝いたします。



**素晴らしき一年に感謝を込めて**  
 鈴鹿シティロータリークラブ  
 会長 森 通人

当クラブでは、本年度、20周年を迎えるに当たり、大きくは三つの記念事業を行って参りました。  
 一つ目は、地域に目を向けた社会奉仕事業。防犯カメラの設置など、犯罪を未然に防ぎ、犯罪に巻き込まれない防犯意識の向上を目的に、地域住民の皆様や地元高校生さん達と共に創り出す「安心・安全空間創出プロジェクト」を行いました。  
 二つ目は、グローバルな視点での国際奉仕事業。今後、日本との関係が益々、深まっていくであろうベトナムにスポットを当て、未来を担ってくれる青少年をターゲットに「ベトナムでの奨学金基金設立事業」を行いました。特に現地支援先であるタイフック村へも、50名以上のメンバーと共に出向き、学生達一人一人に直接「奨学金」を手渡せた事は、私たちの心に深く刻まれる事業となりました。  
 そして、三つ目が「20周年記念式典」となります。式典には田山ガバナーはじめ、多数のご来賓にご列席頂き、厳粛な中にも、明るく楽しい式典を開催する事が出来ました。  
 20周年と言う記念すべき年度に、会長と重責をお支え頂いた、幹事をはじめ、クラブメンバー各位、関係者各位に、心より「感謝」を申し上げます。ありがとうございました。



**一年間を振り返って**  
 津ロータリークラブ  
 会長 奥田 六幸

2017年～2018年度津RCの会長職を拝命し、身の引き締まる思いで努めてまいりました。  
 今年度は辻 正敏ガバナーノミニと宮上史郎ガバナー補佐を輩出した年であり、9月には当クラブがホストとして開催したインターシティミーティング（IM）が好評を頂き、無事終了いたしました。  
 田山ガバナーの地区活動テーマ「未来を創造しよう」を念頭に、2年後のガバナー一年度に備え、会員増強に力を入れてまいりました。  
 また10数件の多様な事業を理事会や委員会にご苦勞をおかけしながら一緒に実施出来たことを心より感謝申し上げます。  
 次年度のPETS・地区研修・協議会の開催、また次年度の地区大会開催に向け、会員全員が一丸となって準備に取り掛かっています。  
 最後になりましたが、すべての会員の皆様よりご協力を得て無事会長職を終えることに感謝申し上げます。



**伝統の継続と進化**  
 上野ロータリークラブ  
 会長 別所 泰広

昨年3月、「PETS」を受講し、会長の役割が如何に重要で大切かを認識するとともに、7月からこの大役を遂行していかなければと強い思いが込み上げてきました。  
 この研修の中で、最も強調されたのが会員増強です。  
 今、国際ロータリー2630地区は、会員の高齢化に苦慮しています。会員の増加、次の世代を担うロータリアンの育成が急務です。特にイアン・ライズリー RI会長の目指す「ロータリー：変化をもたらす」田山雅敏地区ガバナーの指針「未来を創造しよう」の言葉どおりですが、いざそれを実行するにはどうしたら良いか悩む日々が続きました。そんな折、歴代会長の下、続けてきました会員増強の努力が実を結び、6月に初めての女性会員の入会、更には会長年度の、7月、8月、9月に計6名の新入会員が誕生しました。幸いにも初めての女性会員は、人当たりもよく、すぐに会に馴染んで頂き、他の新入会員も新しい空気を吹き込んでくれました。  
 お蔭をもちまして、計画した事業は予想以上に順調に進み、更には、中勢・伊賀グループの新しい事業「ポッチャ大会」も開催させていただきました。  
 上野ロータリークラブは、伝統と秩序、親睦を重んじるクラブです。その自負を持って会長を支えていただきました会員の皆様から感謝いたします。



**一年を振り返って**  
 名張ロータリークラブ  
 会長 亀井 喜久雄

当クラブは1963年2月25日に創立し、今年は55周年という節目を迎えました。10月7日にはそれを祝う記念式典を開催することができました。  
 55周年を迎える事のできたのは、地域社会への奉仕活動などを通じ、素晴らしい歴史を長年にわたり諸先輩の方々が受け継いでこられた成果であり、そうした活動に私自身が参加してこれた事を今、大変な喜びとして感じております。  
 10月の記念式典では、高王大来皇女ゆかりの夏見昌福寺を後世にしっかり継承するために、寺院の前に夏見昌福寺の歴史を記した縦2メートル・横1・8メートルの大きなプレートを寄贈致しました。同日午後には、明治天皇の玄孫に当たり、旧竹田宮家の竹田恒泰氏を御招きし55周年特別例会を亀井名張市長、上島教育長をゲストに迎え、700名の一般市民の方々をビジターに迎え開くことができました。  
 温故知新という言葉があります。我々も我々を育んでくれた地域の歴史を学び伝承し、地域をもっと愛し、そこで暮らすの大切をもっと認識、共有したいと思っております。そして、そうした活動の先頭に立つ事が「ノブレス・オブリージュ（高貴なる者に伴う義務）」であり、正に我々の役割と思っております。  
 1年間の会長職の思い出として周年事業の経過を記して報告とさせていただきます。



**一年間のロータリー活動を振り返って**  
 津南ロータリークラブ  
 会長 山田 俊郎

2017-18年度は「10年後のロータリーを描いて、魅力あるロータリーを目指します」をテーマに活動をしてまいりました。先ず、外来卓話では、京都・裏千家に携わる様々な職人の方々に大変高貴な日本の美の世界をお話して頂きました。次に「津南」という漢字が同じことから新潟津南ロータリークラブとは以前から交流を持ち続けているのですが、今年は、4月21日～22日に視察旅行を兼ねたの懇親会を長野で開催致しました。大変楽しい時を過ごすことが出来、ますます親交を深めることが出来ました。  
 また、2001年から青少年奉仕活動の一環として、津市立橋南中学校と交流があります。生徒達の職場体験受入れ、文化祭についての講演会の実施、及び6月にはロータリアンによる職業講話を行います。長年に渡り、中学生とロータリアンの関係が継承されていることは本当に素晴らしいことだと思います。  
 これもひとえに先輩方が基礎を作り、クラブとして携わってきたかあしです。そしてそれらを今年度も継承する事が出来た事は、本当に嬉しく思います。  
 会員の皆様には多大なる御指導とご協力のもと、助けて頂きまして本当に感謝しております。この一年間の経験をこれからも微力ではありますが、頑張っていく決意をさせていただきます。



**一年を振り返って**  
 津北ロータリークラブ  
 会長 杉本 治

会長職を務めさせて頂き早いもので残すところ後2ヶ月余りとなりました。2017-2018年度RIのテーマは「ロータリー：変化をもたらす」、2630地区の田山ガバナーのテーマは「未来を創造しよう」です。10年後の津北RCを想像してみたところやはり会員増強が大事だと気がきました。当クラブは最大65名の会員がいましたが、私の会長就任時は40名でした。来年は当クラブ50周年になりますが、会長就任時に50周年時には会員数50名にしましょう、増強委員会だけではなく会員全員で動員しようとして提案しました。現時点で3名入会して頂きましたが残念な事に年齢的な事等で2名退会となり純増1名です。まだまだ目標には程遠い状態ですが会員の皆様には感謝しております。今年度は例年通りの事業・行事しかありませんでしたが、唯一特別な事といえば津市教育委員会からのALC（外国語指導助手）活動の為に職作成の支援依頼が当クラブにあったことです。津4RCでの支援を他クラブに提案し御賛同頂戴6本を津4RCで寄付する事ができました。1年が無事終わろうとしています。これもひとえに幹事をはじめ会員の皆様方の御協力と御支援のお陰と感謝しお礼を申し上げます。



**一年を振り返って**  
上野東ロータリークラブ  
会長 森 正美

振り返るとあつという間の一年でした。今年度は我クラブ輩出の田山ガバナー年度であり、様々な行事が想定されていました。とりわけ大きな行事である地区大会の実行にあたり、会員一丸となりやり遂げることが出来ました。又、会員増強はクラブの大きなテーマでもあり、ガバナー年度の今年こそ結果を残さなければならないと感じておりました。昨年度末34名の会員数でしたが、5月末現在では40名の会員数となりました。我クラブとしては初めての女性会員も3名増強することが出来ました。停滞気味だったクラブの雰囲気が大きく変わり始めてきております。クラブ行事としては、市内小学生対象に高校生と防犯教室を行ったり、プロの音楽家と過去に音楽指導を受けた音大生とのコラボ演奏会を、寺院や市内小中学校で開催いたしました。これまでは、高校生を対象とした音楽指導でしたが、指導を受けた生徒が埋まりをして演奏をするという、新しい展開が開けてきました。市内在住外国人高校生への奨学金制度も8日に入り、支援していた卒業生が、会員企業に就職して創立例会に挨拶に来てくれるというハプニングもあり、会員一同大いに喜びました。会長としては力不足でしたが、困難なこの一年を会員の皆様に向けていただき、何とか乗り越えることが出来ました、心よりお礼申し上げます。



**一年間を振り返って**  
久居ロータリークラブ  
会長 山本 和央

会長に就任してから思い返しますと「あつ」という間の一年間でした。前途洋々のもとに久居ロータリークラブの歴史と伝統を守護しつつ、新しい奉仕の形を模索実践できることを目指して1年間、皆様の絶大なご協力と温かいご支援をいただきまして、無事に努めることができたのではないかと考えております。これもひとえに、皆様のおかげであります。ここに深く感謝申し上げます。年度始めに、今年度のテーマは「仲間を増やし、楽しいロータリークラブライフを！」を提唱させていただきました。これは、将来の我が久居ロータリークラブを強く意識したものです。また、会員増強を成就しなければ段々と先細りとなり、やがて衰退していくのは自然の摂理であります。人的基盤と財政基盤の確立をするために会員一同が取り組んできた結果、「女性会員入会第1号」及び「会員純増2名」を達成できたことは、大変この上ない喜びであると存じます。また、長谷川靖幹事には、スタート以前から、極めて肌理の細かいご配慮をいただき、今の今まで支えてくれました。心より大変感謝申し上げます。長く短い一年でしたが、改めて会員の皆様へ感謝とお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



**一年間を振り返って**  
名張中央ロータリークラブ  
会長 辻 貴仁

忘れてはいけない…2017年9月15日、37歳という若さで他界してしまった中谷大介君。9月3日に開催されたインターシティミーティングでは、いつも通りの姿で研修とポッチャ競技を楽しみました。しかし、その後日、緊急搬送され、9月15日永眠しました。入会わずかながらクラブ広報委員長も努め、素晴らしい人財を失った事はクラブにとって悲しい出来事でした。これまでの事業で最も感動を受けたのは、第3回目となる介護福祉施設利用者とな名張高校 被服専攻の学生19名と行った青少年育成・世代間交流事業です。伊質の組み紐を使った巾着袋を製作して頂き、施設利用者の方々にプレゼントし、茶話会で交流しました。利用者の中には涙する方、普段静かな方がオペラを歌ったり…喜んでおられる姿を見て、継続してやれて良かった、学生の力は素晴らしいと感じました。残すところ僅かですが、辻本幹事を初めとする会員、ご夫人の皆様、森垣事務局さんに支えられ深く感謝申し上げます。



**2017～2018年度 ロータリー活動を振り返って**  
大阪ロータリークラブ  
会長 四十崎 義隆

大阪ロータリークラブは今年で67年目を迎えています。歴代のリーダーは穏やかな成長を目標に掲げられ、「不易流行」の言葉の通り基本は守り、社会の変化、国際ロータリークラブや地区の変化に対応しながら、今日を迎えています。ここ数年で若手会員の増強も進み、会員数79名、会員の平均年齢59歳代に下がり、今年も4名の増強が計れました。そして、例会の出席率も上がりクラブ内の活性化が図れているように思います。今年のテーマ、例会の充実には次世代リーダーの育成も含まれており、今年の場合、委員長に40歳代から50歳代の若手会員を抜擢して、ベテラン会員が補佐するように人選いたしました。地区への出席やクラブ行事への参加を積極的に進め、各委員長はじめ若手メンバーに例会での発言を求めロータリアンとしての知識の向上、意識の高揚に努めてもらい育成に繋げてまいりました。対外的には地区へ2名の出向者、社会奉仕活動は竹上松阪市長出席の下、鈴の森公園の植樹例会、南勢カトリック教会への寄付を行いました。家族例会では鈴木三重県知事夫妻をお招きして会員と家族の絆を深めました。又、月見例会、花見例会、職場例会など計画通り実行できました。この事は不慣れな会長を新竹幹事始め会員の皆様のご協力が無事終えられそうになり、心から深く感謝申し上げます。



**一年間を振り返って**  
松阪東ロータリークラブ  
会長 川原 平生

松阪東ロータリークラブ創立48年度を迎え、その伝統を重んじ私は例会毎に歴代会長の方針を基に継続の大切さと変化の必要性、私の思いとして緑作り、絆作りを意識してお伝えしてまいりました。会員の意見を聞くため、クラブ内でアンケートを実施し、参考とさせていただきます。10月に開催されました松阪・東紀州グループ・インターシティミーティングのディスカッションでは会員増強に力を入れる事をお話しし、その後皆様のご協力のおかげで新入会員5名が入会されました。事業としては、地区補助金を使い、松阪・多気地区の放課後児童クラブへの支援として遊具などの寄贈、当クラブ会員の若佐小児科医による講演会、お茶の入れ方教室を開催しました。講演会是一般の方も含め200名以上のご参加をいただきロータリークラブへの関心も得られたのではないかと思います。例会としては、ローターアクトクラブとの合同観月家族例会、紅葉狩り家族例会、忘年家族例会、新春例会、節分例会など楽しく絆作りの出来る機会となったと思います。また、「ロータリーの森」清掃例会。交流例会として児童養護施設「聖の家」の子供たちを招待して茶摘み、パーベキュー。職場例会では奥野食品様の納豆工場見学を行いました。親睦活動としては、年10回のゴルフコンペ開催。会員のご協力のもと、たくさんのロータリー活動を通して楽しく有意義な時間をお過ごしください。今が素敵な未来へと繋がっていただければ幸いです。



**一年を振り返って**  
熊野ロータリークラブ  
会長 西村 昭宏

この度、設立45周年という記念の年に会長職を務めさせていただきました。まずは、クラブの皆さんに、1年間のクラブ運営にご協力を頂きまして誠にありがとうございました。感謝の言葉を申し上げます。今年度は国際ロータリーのテーマ「変化をもたらす」地区のテーマは「未来を創造しよう」と変革を求められる年でありました。前年度までの会長が、国際奉仕事業3年計画を行ってまいりましたので、今年度は自クラブに対し、例会出席率、会員増強やクラブ内での会員及び、会員家族との懇親を深め出席しやすい例会にしたいと頑張ってきた次第であります。おかげさまで、不安から始まりました会長職も、無事1年間を終えることが出来ました。歴代の会長にくらべますと、物足りない会長であったのではないかと思います。残すところ、創立45周年記念式典を無事成功させ1年間を締めくくりたいと思います。



**一年を振り返って**  
尾鷲ロータリークラブ  
会長 坪井 常弘

会員増強について  
今年は、残念ながら増強を図ることができませんでした。12名のクラブなのに、途中で1名が退会されました。しかし新しい仲間も1名入会していただきました。20歳代の方です。当クラブには若い会員が2名います。この2名の働きのおかげです。感謝です。  
奉仕活動について  
今年度は、地区の補助金を活用した奉仕活動を実施することができました。私が入会してから初めてのことでしたが、補助金小委員会の皆様には書類作成などで本当にお世話になりました。感謝です。奉仕活動は、小学生を対象とした少年サッカー大会で、尾鷲市の地元チームに加え三重県から3つのチームが参加して行いました。お陰様で当日は、小学生の選手達とその家族で30人ほど集まりました。試合を見ていると、自分の少年時代を思い出させてくれてとても幸せな気分でした。土日の二日間で行いましたが、土曜日は尾鷲の花火大会だったので、子供たちはサッカーができることに加え、花火見物もできたと大喜びでした。次年度以降もロータリー杯を継続してくれることになりましたので、これからもできるだけの協力をしたいと思います。



**一年間を振り返って**  
松阪山桜ロータリークラブ  
会長 坂本 昇

先日、姉妹クラブの台湾板橋西區扶輪社の25周年記念例会に参列してきました。熱く熱く盛大なセレモニーに参加し、たいそうなおもてなしを受け、永未く姉妹提携が続くことを確信しました。当クラブの今年度終盤の大きな行事の一つであり、会長職の肩の荷も下り、あと2ヶ月で終わることを実感致しました。昨年今頃は、ベツ、地区協議会等の研修を受けており、会長としてクラブを充実しなくてはと思う気持ちでどんどん高まってきました。しかし、事業年度がスタートしてからは、これからこれからの思ううちにスケジュールを消化するに精一杯で、クラブの充実化どころではなかった様に思います。振り返れば、会長を全面的に支えてくれた幹事、何事も大目に見て支えてくれた理事の皆様、そして二つ返事で協力して支えてくれた会員の皆様のおかげで、会長として少しではありますがイメージしていた事業計画を達成出来たのではないかと思います。クラブの皆様、サポートしていただきました地区委員会、兄弟クラブの皆様へ感謝致します。





**一年間を振り返って**  
伊勢ロータリークラブ  
会長 中村 哲也

一年間大過なく有意義なクラブ運営をお支えいただきました、役員・理事・会員の皆様にお礼申し上げます。

『時を繋ぐクラブの創造』をテーマに掲げ、過去を学習し、現在を行動して、未来を考える一年間を目指してまいりました。印象に残る事業としては、①納涼・観月・クリスマス・新年・親睦などの親睦事業（会員・家族が交流を一段深められました）、②いつも知恵を生かしていただいた例会運営、③姉妹クラブ・台湾基隆南区RC55周年記念式典の訪台事業、④未来につながる青少年育成事業、⑤地味ながら毎年重ねられている各種社会奉仕事業など挙げればきりありませんが、すべての例会・事業が素敵な歴史の1ページを作っていました。

また、地区交換学生（ブリジット モロニーさん）の受け入れを通してお世話になりました皇學館高等学校をはじめ皆様の心温まる学生へのご支援は、長く伊勢クラブの記憶にとどめるところです。

山田ガバナー、小林ガバナー補佐には一年間良き指導を賜り誠にありがとうございました。



**一年を振り返って**  
伊勢中央ロータリークラブ  
会長 玉木 義裕

「例会が育む、奉仕の理想と親睦」一気概高く、楽しく一をテーマに一年間運営してまいりました。例会は「気概とプロフェッショナル」をキーワードにし、各委員会の特色ある例会が企画されました。親睦活動ではより親睦を深められるような楽しい企画がなされました。特に職業奉仕に関しては、2回の勉強会を開催し理解をより深めることができました。対外的には青少年奉仕活動で「ふれあい野球 感謝と思いをこめて」と称し伊勢地区の少年野球の選抜チームと我々の野球チームでしんげんに白熱した試合を行いました。また同時に野球用具メーカーと地元のスポーツ用品店さんのご協力のもと用具の手入れ方法・扱い方から用具にする心の大事さを感じていただきました。

ロータリー財団・米山奨学会にも微力ながら貢献出来ました。また新しい会員も2名迎えることができました。少しは「未来を創造」できたかもしれません。

最後になりますが、クラブ会員の皆様を始め小林ガバナー補佐また多くの方々のご指導とご協力をいただき一年間無事終えることができました。誠にありがとうございました。



**一年間を振り返って**  
鳥羽ロータリークラブ  
会長 濱口 和美

一年を振り返って、私たちは周りの人たちを、そして自分自身に変化をもたらすことができたでしょうか。今期の鳥羽クラブのテーマは「つなげよう鳥羽の未来へ」\*地域活性化につながるキャリア支援\*といたしました。このテーマのもと、青少年奉仕委員会の事業活動として中学生向けキャリア支援を計画し4月に実施いたしました。私たち鳥羽クラブにとっても初めての試みでしたが、参加会員の皆さんは鳥羽市立加茂中学2年生の皆さんと一緒に「仕事について考える」のワークショップに熱心に取り組み、子供たちにとって仕事とは？を考える一助となるようご自身の仕事や人生経験を通して様々な助言をしていただきました。人口減少に悩む鳥羽市にとって、すぐには難しくてもいつかはふるさと鳥羽で仕事をさせていただけたらと願いながら取り組みました。また社会奉仕委員会の活動も例年通りの寄付ではなく、何が必要かを検討し「ポッチャ用具」を寄贈しました。これは地元メディアにも取材報道されました。私たちの奉仕活動の歩みは遅くても、地域活性化に向け様々な事業活動を展開できればと思っています。一年を振り返り、私たちは確実に変化をもたらすことができたと信じています。



**一年を振り返って**  
伊勢度会ロータリークラブ  
会長 西本 郁男

クラブ会長としての一年を振り返ってみれば、あっという間の一年だったような気がします。就任挨拶で今期RIテーマ「変化をもたらす」の中で、「奉仕活動を通じて、人の人生に自分自身に、またクラブに、そして地域にどんな変化をもたらすことができるかをクラブ会員が皆で考え、実践して、最後の引き継ぎ例会で発表しましょう。」という話をしました。そして「一燈照隅」；クラブに於いてなくてはならぬ人になるのスローガンで一年間走ってまいりました。会員数の少ない（今期15名）クラブならではの結束力、意思決定の速さ、人を思いやる気持ちが原動力となり、財団補助事業「伊勢首頭の啓蒙と後継者育成」の成功や3回の公開例会開催、記念植樹など、常に次に向けて目標を定め、その達成に向けて活動をするというスパンで活動計画を作成したことが、一年間モチベーションを落とさずに過ごせた遠因かなと思います。もちろんクラブ会員皆様が一致団結してそれぞれの役割をきちんと果たしてくれたことは言うまでもありません。これからもクラブ全員で魅力ある例会作りに、そして意義ある奉仕事業にチャレンジしてまいります。



**一年間を振り返って**  
伊勢南口ロータリークラブ  
会長 西村 俊明

50周年という節目の年を終え、「原点に戻ろう」というテーマにてスタートし、クラブ内部の充実を第一義として、気の引き締まる思いで努めてきましたが、一年という月日はあっという間に過ぎ、ここまで来てしまったという感じです。

品位と品格を重んじ、和気あいあいと語り合えるこのクラブの雰囲気、居心地の良さを新しいメンバーにも享受してもらえる様、会員増強にも励みましたが、もう一歩のところですね。次年度に託したいと思います。また、ロータリーアクトの復活の為、準備を始めた一年でもありました。

この一年間、幹事始め、理事、役員、会員の皆様に支えられ、そしてご協力いただいたことに感謝します。



**一年を振り返って**  
志摩ロータリークラブ  
会長 羽根 美紀子

「みんなの笑顔で地域へ奉仕」というクラブテーマを掲げまもなく1年が終わろうとしています。地区大会でクラブ会長さんたちにお会いすると、「もう終わったも同然だね」という声をよく耳にしますが、当クラブは下半期に重要イベントがたくさんありました。

その一つであります「志摩ロータリークラブ文化交流祭」は、夏頃から実行委員会を立ち上げ、特に今期は地区補助金をいただいたの実施ですし、初めてのスポーツイベントである「チャイルドサッカー大会」を企画し、地元で活躍している「FC伊勢志摩」のメンバーやジュニアチームのメンバーに協力していただいて、U6の子どもたちを対象にサッカーの試合、技術指導を実施しました。同時開催で、同じ敷地内では、地元の中学校バスバンド部による演奏、合唱団の発表、水産高校生徒によるイベント、当クラブの活動報告をパネルによって展示、この活動は、志摩市内の小中学校の協力による鉛筆、文具をバリ島やネパールへ届ける事業ですので、子どもたちや親御さん世代は、とても興味を持ってパネルを見てくれていました。

この日は、ロータリークラブの存在を地域に知っていただく、良い手段であることを実感いたしました。

この1年、皆さんに支えていただいて次期にバトンタッチできることに感謝申し上げます。



## 韓国訪問 3600地区地区大会参加報告

当2630地区と韓国3600地区は、インターアクト事業を通じて交流が深く互いの地区大会に参加し親睦を深めています。10月の当地区の地区大会には、尹ガバナーご夫妻、金地区代表幹事ご夫妻、鄭ガバナーエレクトご夫妻がお見えになり、今回はこちらから田山ガバナーを初め下記メンバーにて韓国を訪問し地区大会に参加しました。

- ・日 時 2018年4月26日 18:00～、27日 9:30～
- ・場 所 城南市 MILITOPIA HOTEL、アートホール
- ・参加者 田山雅敏ガバナー、田山圭子令夫人、劔田廣喜パストガバナー、中井茂平地区代表幹事、榊原成人インターアクト委員長、布目美智男次期インターアクト委員長
- ・4月26日 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会(約150名)

韓国3600地区役員、他地区ガバナー、各クラブ会長、日本(2630地区)、台湾、フィリピンと国際色豊かな晩餐会で、開始前に韓国のクラブと、台湾やフィリピンのクラブとの提携調印式が行われました。田山ガバナーから尹ガバナー夫妻にプレゼントの授与式が行われました。

- ・4月27日 地区大会二日目(約1000名)

最初に壇上にてガバナーとグループ毎のガバナー補佐、各クラブ会長との挨拶、握手会、クラブ紹介が行われました。次にガバナー、RI会長代理の挨拶があり田山ガバナーの挨拶となりました。田山ガバナーが挨拶を韓国語で行ったので、会場参加者一同から万雷の拍手、大歓声が上がりました。(記:中井茂平)



## 2018年地区研修・協議会

日時 2018年4月14日(土) 場所 長良川国際会議場・岐阜都ホテル  
 ホスト 岐阜加納ロータリークラブ



インスピレーションになるう

2018-19年度国際ロータリー会長バリー・ラシン氏 Barry Rassin (バハマ) は、1月の国際協議会で「インスピレーションになろう」というテーマを発表しました。英文では“BE THE INSPIRATION”。ラシン氏の説明は以下のとおりです。

「前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための『インスピレーション』となる必要があるのです。



2018-19年度第2630地区ガバナー 木村 静之

テーマ「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」

- 地区重点目標
- 1 「奉仕の理念」の浸透と例会の充実
  - 2 会員基盤の強化、意欲の喚起
  - 3 奉仕活動の充実
  - 4 公共イメージと認知度の向上
  - 5 ロータリー賞、RI会長特別賞に挑戦しよう



田山ガバナー



木村ガバナーエレクト



## 中津川RC 創立60周年記念式典・祝賀会

中津川RCは本年創立60周年を迎え4月12日(木) 記念式典・祝賀会を開催致しました。ご来賓として、中津川市長、田山ガバナーを初めとして、近隣団体、スポンサークラブの岐阜RC、東濃地区のRCの皆様、姉妹クラブである台湾三重RCの会員と夫人26名と多くのご来賓の方に参加戴き、総勢150名もの人数で盛大に開催をすることが出来ました。

式典では林会長の式辞から始まり、田山ガバナーを初めとするご来賓のご挨拶をいただきました。ガバナーからの弊クラブ伊藤昇PPへの特別表彰の授与がありました。伊藤昇PPは中津川RCのチャーターメンバーであり、59年皆勤、未だ現役として例会・事業へ活発に参加されています。

記念事業発表は、「ふるさとの先人前田青邨」展、「ドラゴンズ野球教室」「青少年育成事業・大相撲中津川場所」を紹介しました。



祝賀会は中津川少年少女合唱団の歌から始まり乾杯を経て、プレゼント交換、アトラクション(地歌舞伎)へと大いに盛り上がり、特に台湾の方々には好評でした。

皆様のお陰で厳粛にそして、祝賀会は盛大に行うことが出来たことに感謝をし、次の10年に向かう良い周年式典となりました。



### 中津川RC 伊藤昇様59年皆出席表彰

4月12日、中津川ロータリークラブ60周年記念式典におきまして、田山雅敏ガバナーよりチャーターメンバーであり現役メンバーでもある伊藤昇(99歳)様が59年皆出席表彰を受けられました。入会以来、約60年の長きにわたりクラブの発展向上にご尽力されロータリーの親睦と奉仕に貢献されました功績は誠に大きく、全てのロータリアンが敬意の念を抱くものであります。



## ボッチャ大会開催

去る4月30日、中勢・伊賀グループが伊賀市にあるゆめドームうえのにおいてボッチャ大会を開催しました。

本大会のホストクラブである上野RCの別所泰広会長の挨拶に始まり、田山ガバナー・宮上ガバナー補佐の挨拶とともに中勢・伊賀8グループ120名のロータリアンが知的障がい者18名と共にボッチャゲームを楽しみました。優勝は、名張Bチームで立派なトロフィーが渡されました。

その後参加者は場所を変え、ヒルホテルサンピア伊賀にて懇親会をおこない、大会実行委員長、本城高会長の挨拶、辻ノミニーの挨拶の後、宮上ガバナー補佐の乾杯の発声により大いに盛り上がりました。



## ポリオ撲滅街頭募金活動報告

4月21日JR岐阜駅北口「杜の架け橋」にてポリオ撲滅の募金活動を行いました。各務原高校のインターアクターとの交流例会の一環として初めて企画しましたが、予想を上回る25名の生徒が参加し、皆元気よく声掛けをしてくれました。通行人の方々には、たくさんのご理解と善意を頂き頭が下がる思いです。

今回の活動がIAの皆さんにとって、世界の問題についての知識と理解を深める機会になれば幸甚です。



各務原ロータリークラブ会長 大野 広

## 鈴鹿・亀山グループ ロータリーデー・ポリオ撲滅募金活動報告

鈴鹿・亀山グループの5ロータリークラブ（鈴鹿・鈴鹿ベイ・亀山・鈴鹿シティ・鈴鹿西）は、2018年4月7日（土）、旭化成鈴鹿製造所内の鈴鹿さくら祭り会場内においてロータリーデーを開催し、ポリオ撲滅のための募金活動を行いました。各クラブの会員や家族、インターアクトクラブの顧問の先生、部員の約60名が参加しました。

「END POLIO NOW」「ポリオ撲滅まであと少し」「ポリオのない世界まであと少し」のパネルの掲示やポリオ撲滅のメッセージが入ったポケットティッシュを配り募金協力を呼びかけました。今後もポリオ撲滅への理解を深めるためにグループ全体で活動に力を注いでまいります。



鈴鹿・亀山グループガバナー補佐 河田勝正

## ロータリーデーにお菓子作り

平成30年4月7日（土）名張市主催の桜祭りに合わせ、『男山桜の森で』第3回ロータリーデーを開催しました。この桜の森はロータリー100周年記念事業の一環として雑木林を造成し、100本の桜の苗木を植樹、管理し続けています。この日は、冬に逆戻りした様な感じの強風、寒空の下での開催でした。

恒例に従い、小学生以下の児童、幼児を対象にお菓子作りを楽しんで貰いました。認知度が高まっている事を確認出来ました。会場にポリオ撲滅のパネルを配置し、「ロータリー世界と日本」の小冊子と我がクラブの奉仕活動の記録史を配布しました。350個準備したお菓子や景品が予定より2時間ほど早く無くなるという盛況ぶりでした。地元ケーブルテレビ、名張FM放送の取材等がありロータリー広報活動にも役立ちました。ポリオエンドの募金箱を設置し、募金活動も行いました。



2630地区名張中央ロータリークラブ 東 和伯

## 受入学生と派遣候補生のオリエンテーション

4月22日に受入学生と派遣候補生のオリエンテーションを実施しました。

青少年交換部門委員会 委員長 永尾壽啓



## 台湾東部地震義捐金について

台湾東部地震の義捐金として5月15日に第2次義捐金107,000円をガバナー会事務局へお送りしました。



**お詫びと訂正** ガバナー月信5月号 P 9「地区委員長 一年を振り返って」の頁で青少年育成小委員会 下田徳彦委員長様の文章と青少年交換部門委員会 永尾壽啓委員長様の文章が入れ替わっていました。下記に再掲載をさせていただきます。関係者様に改めてお詫び申し上げます。



### 青少年育成小委員会

委員長  
下田 徳彦

委員長2年目として前年に引き続き、「出前講座の普及」に取り組んで参りました。これまでの活動を手短かにまとめた「出前講座ダイジェスト版DVD」を作成し、プレゼンの機会に活用したところ、多くの方から感銘の声をいただいたものの、実際の普及成果にはつながらなかったことを反省しております。対外的な面では、教育行政との情報交換の中で今後学習指導要領が変わり、キャリア教育の重要性が益々高まっていくことを確認できました。また教育行政からのロータリークラブへの期待度も益々高まっていくと感じています。これらの活動を振り返り、出前講座の普及以前に、まず多くのクラブメンバーにキャリア教育の必要性について理解を深めていただくこと、地域の次代を担う子どもたちにとって私たちができる職業奉仕活動として「出前講座」がひとつの具体的な活動であることを知っていただくことが重要であると感じています。次年度も委員長留任させていただくにあたり、今年の反省を次年度に活かしていきたいと思っております。どうぞ引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



### 青少年交換部門委員会

委員長  
永尾 壽啓

国際ロータリーが目指す世界平和の重要な一翼を担っている青少年交換委員会として、委員会メンバー、受入学生、派遣候補生、各クラブ関係者、ホストファミリー、保護者の方々と一緒になり事業活動を無事に進められたことを感謝いたします。

本年度の学生状況は、受入学生は8名、派遣候補生は5名の合計13名で、それぞれが充実した、価値ある1年にする為に、毎月オリエンテーションを開催してコミュニケーション力を習得しております。また屋外に出て日本の知見を広げる「広島方面への夏期研修旅行」、加賀修PGのお世話になる「日本文化体験作陶研修」、「多地区合同白馬交換学生スキーの集い」、「虎溪山永保寺における座禅研修」等の体験をイン・アウト交換学生全員で行動し、繋がりを深め、言葉の壁を越えた友情を築き上げています。

また次年度の派遣候補生募集を考えた活動として、委員会メンバーは、国際ロータリーの青少年交換プログラムの有意性を多くの人に知っていただくように 岐阜・三重両県下の高校や教育機関等に足を運び、説明とポスターの掲示を行っていることを報告させていただきます。

## 2017～2018年度 一年を振り返って

思えば三年前の3月に田山ガバナーは指名を受け、デジグネート、ノミニー、エレクトを経てガバナー年度も終わり間近となりました。私たち地区幹事13名は、一昨年の5月にガバナーエレクト事務所を立ち上げ、地区役員の皆様のご協力のもと宮田耕一研修担当地区幹事を中心に、次年度AG、CCセミナー、PETS、地区研修協議会をこなすことが出来ました。ガバナー年度に入り月信の発刊、ホームページのアップ、さらに前半は各クラブへの公式訪問、IMに出席するガバナーのスケジュール調整を行い、その同行者を地区幹事にて手分けしました。当該行事担当の各クラブの皆様には大変お世話になりました。そして松本正博実行委員長のもとに伊賀市文化会館で開催されました年度最大のイベントである地区大会には、多くの会員の皆様にご参加いただきました。さらに昨年末から本年にかけての後半は、次から次へと増強セミナーや次年度セミナー、周年事業や委員会事業に目の回る忙しさでした。又、海外渡航も多く9月韓国ソウルでの日韓親善会議、3月台湾高雄市での日台親善会議、4月タイや韓国3600地区の地区大会、6月のトロント国際大会とそれぞれの会合にはガバナーと共に地区幹事が手分けして参加させていただいております。おかげ様で地区大会の参加者は、目標とする50%となり、又、田山ガバナーが唱える「会員増強」の成果も出ており皆様のご尽力の賜物と考えます。

この3年間、上野東RC、上野RCから選抜された地区幹事一同、一丸となって田山ガバナーを支えてきました。第2630地区の会員の皆さん、ご指導いただいたパストガバナー、ガバナー補佐、地区委員長や地区委員、地区事務所の皆さん、地区大会でのコ・ホストクラブ、そして上野クラブ、上野東クラブの会員、ご家族の皆さんに田山ガバナー年度へのご協力・ご支援を賜り地区幹事を代表して厚くお礼申し上げます。さらにガバナー輩出クラブだからこそ体験できた貴重なロータリー経験ならびに小さなクラブが大きな責任を果たさせていただいたことに感謝申し上げます。「MAKING A DIFFERENCE」、それは年度が終わっても私たちには忘れられない言葉となりました。

地区代表幹事 中井茂平  
地区幹事一同  
ガバナー月信編集委員一同

# 国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2018年4月30日現在

グループ	ク ラ ブ	出席率	例回数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
岐 阜 A	岐 阜	87.28	5	85	85	86	1	1
	岐 阜 西	85.66	4	54	54	53	0	-1
	岐阜長良川	85.27	3	53	53	50	0	-3
	岐 阜 北	93.75	4	30	30	32	1	2
	岐 阜 中	70.79	4	27	27	27	1	0
	グループ計(5)	84.55		249	249	248	3	-1
岐 阜 B	岐 阜 南	84.40	3	101	101	103	8	2
	岐 阜 東	74.58	4	50	50	49	1	-1
	岐阜東南	77.14	3	36	36	37	0	1
	岐阜加納	80.79	3	68	68	70	2	2
	岐阜エトス	67.25	4	17	17	20	2	3
	岐 阜 城	100.00	4	14	14	15	0	1
	グループ計(6)	80.69		286	286	294	13	8
岐 阜 西 濃	大 垣	77.12	4	84	84	86	0	2
	大 垣 西	89.22	4	78	78	79	0	1
	本 巢	87.91	4	28	28	32	0	4
	羽 島	87.03	3	28	28	28	3	0
	不 破	88.66	4	36	36	34	0	-2
	大 垣 中	85.60	4	39	39	40	0	1
	大垣センチュリー	76.90	4	49	49	52	1	3
	岐阜淡墨	90.63	4	14	14	16	1	2
	岐阜サンリバー	97.22	4	18	18	20	4	2
	グループ計(9)	86.70		374	374	387	9	13
岐 阜 東 濃	多 治 見	82.84	4	50	50	50	3	0
	中 津 川	100.00	3	73	73	74	2	1
	瑞 浪	96.53	4	56	56	56	0	0
	恵 那	74.03	4	35	35	49	1	14
	土 岐	91.49	4	41	41	42	1	1
	多治見西	72.82	4	36	36	36	4	0
	中津川センター	79.80	4	45	45	48	1	3
	多治見パーサイド	90.74	4	38	38	41	1	3
	グループ計(8)	86.03		374	374	396	13	22
東 海 北 陸 道	美 濃	82.22	3	30	30	28	0	-2
	各 務 原	62.00	5	23	23	25	0	2
	関	100.00	3	44	44	49	2	5
	郡上八幡	94.90	4	39	39	41	0	2
	関 中 央	80.46	3	32	32	31	0	-1
	郡上長良川	84.85	4	30	30	33	6	3
	各務原中央	75.32	4	27	27	28	3	1
	各務原かかみの	87.50	4	10	10	10	2	0
	グループ計(8)	83.41		235	235	245	13	10
	濃 飛	高 山	85.00	4	39	39	41	0
下 呂		78.77	3	21	21	22	0	1
高 山 西		90.24	3	39	39	41	0	2
美濃加茂		84.33	4	32	32	34	4	2
可 児		77.77	3	29	29	30	0	1
可 茂		100.00	3	10	10	7	0	-3
高山中央		87.50	3	59	59	56	4	-3
グループ計(7)		86.23		229	229	231	8	2
岐阜県合計(43)	84.80		1747	1747	1801	59	54	

グループ	ク ラ ブ	出席率	例回数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
桑 名 員	桑 名	95.92	4	41	41	43	0	2
	桑 名 西	84.12	4	35	35	35	0	0
	桑名中央	86.03	4	27	27	29	2	2
	桑 名 北	92.31	4	34	34	36	10	2
	グループ計(4)	89.60		137	137	143	12	6
四 日 市	四 日 市	97.88	4	91	91	94	0	3
	四日市北	78.75	4	21	21	22	5	1
	四日市西	95.52	4	67	67	67	4	0
	四日市南	81.75	4	33	33	38	3	5
	四日市東	100.00	4	40	40	40	1	0
	グループ計(5)	90.78		252	252	261	13	9
鈴 鹿 ・ 亀 山	鈴 鹿	80.59	4	62	62	63	8	1
	鈴 鹿 西	70.91	4	42	42	41	7	-1
	鈴鹿ベイ	66.67	3	12	12	12	0	0
	亀 山	71.71	4	15	15	16	0	1
	鈴鹿シティ	86.33	4	62	62	64	4	2
グループ計(5)	75.24		193	193	196	19	3	
中 勢 ・ 伊 賀	津	95.82	4	58	58	65	0	7
	上 野	99.17	3	36	36	42	1	6
	名 張	96.26	4	34	34	35	1	1
	津 南	95.03	4	48	48	45	2	-3
	津 北	88.51	4	40	40	40	3	0
	上 野 東	100.00	4	34	34	40	3	6
	久 居	90.18	4	25	25	29	1	4
	名張中央	87.17	4	24	24	23	1	-1
	グループ計(8)	94.02		299	299	319	12	20
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	89.55	4	75	75	78	0	3
	松 阪 東	80.00	4	57	57	59	11	2
	熊 野	63.19	4	35	35	36	5	1
	尾 鷲	59.09	4	12	12	12	2	0
	松阪山桜	84.21	3	38	38	38	4	0
	グループ計(5)	75.21		217	217	223	22	6
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	82.47	3	59	59	58	0	-1
	鳥 羽	80.76	4	32	32	33	4	1
	伊 勢 南	96.94	4	41	41	43	0	2
	志 摩	83.03	4	47	47	48	11	1
	伊勢中央	96.20	4	48	48	48	0	0
	伊勢度会	100.00	4	14	14	15	4	1
	グループ計(6)	89.90		241	241	245	19	4
三重県合計(33)	86.55		1339	1339	1387	97	48	
地区合計(76)	85.56		3086	3086	3188	156	102	

## ■2017年4月(前年度)出席報告

	出席率	期 首	月 末	うち女性	増 減
岐阜県合計(44)	84.98	1,731	1,782	58	51
三重県合計(33)	86.47	1,347	1,363	92	16
地区合計(77)	85.62	3,078	3,145	150	67

〈注〉グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。



# 会員動静報告 (敬称略)

Governor's Monthly Letter 2018 June Vol.12

2018年4月分

## 受勲



山中茂樹  
旭日単光章



庄司博俊  
旭日小綬章

## 表彰



廣澤浩一  
県民功労者表彰

## 入会会員



上杉千文  
2018.4.13入会  
神道



市橋明人  
2018.4.2入会  
警備保障



江崎真澄  
2018.4.3入会  
基礎・外構工事



春山健司  
2018.4.2入会  
鉄鋼製造業



渡辺哲也  
2018.4.24入会  
普通銀行



齋木将吾  
2018.4.16入会  
イタリアン料理



大川達也  
2018.4.5入会  
建物解体業



長尾信幸  
2018.4.5入会  
遊技業



山下喜一郎  
2018.4.5入会  
食品卸売業



中林康弘  
2018.4.6入会  
電気設備工業



平田恵三  
2018.4.13入会  
不動産売買業



須田 健  
2018.4.18入会  
保険業



中村浩三  
2018.4.1入会  
イベント交流業



相場久慶  
2018.4.18入会  
証券業



榊原幸治  
2018.4.7入会  
自動車製造業



寺家正昭  
2018.4.2入会  
菓子製造

## 退会会員

所属クラブ	氏名	性別	退会年月日
岐阜RC	林 初彦	男	2018.4.3
多治見RC	正野 知義	男	2018.4.11
恵那RC	大下 洋一	男	2018.4.2
桑名北RC	伴 久里子	女	2018.4.9
四日市RC	和田 徹	男	2018.4.15
鈴鹿RC	宮崎 孝司	男	2018.4.11
鈴鹿西RC	井筒 隆広	男	2018.4.17
名張RC	谷 里志	男	2018.4.16
津南RC	内田 祐仁	男	2018.4.3
松阪東RC	東 克徳	男	2018.4.27

## 逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

### 岐阜東RC



村瀬隆夫  
1975.10.7入会  
2018.4.8逝去  
2004-05会長  
2008-09ガバナー補佐  
ベネファクター  
マルチプル・フェロー米山功労者

### 大垣西RC



河合進一  
1994.7.5入会  
2018.4.3逝去  
2009～10年度会長  
2009年BF  
2001年PHF (MI)

### 多治見西RC



各務成喜  
1968.4.11入会  
2018.4.17逝去  
1984～85年度会長  
米山功労者

## 月信5月号お詫びと訂正

P14 出席報告で伊勢RCの例会数が抜けておりました。お詫びして訂正させていただきます。

- ・伊勢RC 例会数 4回



## 【表紙写真】

### 「旧小田小学校本館」

旧小田小学校は上野公園の西方に位置しており、木造洋風2階建てのこの建物は開校7年目の明治14年(1881)に「啓迪学校」本館として建てられました。現存する小学校校舎としては、三重県内でも最も古いものです。

昭和50年(1975)に三重県の有形文化財に指定され、平成2年(1990)から平成6年(1994)に行われた半解体修理の際に、失われていた太鼓楼も絵図や痕跡をもとに復元されました。

1階は懐かしい昔の教室風景を復元展示しており、2階は「近代初等教育資料展示室」として明治期から昭和40年代までの教科書・児童作品・学習用具などを展示しています。

お問い合わせ 旧小田小学校本館

伊賀市小田町141-1 ☎0595-21-9957

医薬品により誰かの笑顔を支える会社



創業98年

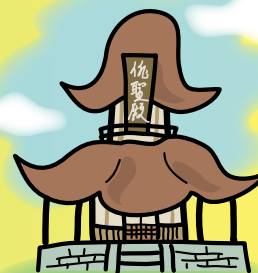
 **中外医薬生産株式会社**

〒518-0131 三重県伊賀市ゆめが丘七丁目5番地の5  
TEL.0595-21-0120(代) FAX.0595-21-0365 URL : <http://www.chugai-iyaku.co.jp>

**お料理するなら  
やっぱりガスね!**



**ウイズガス**



 **上野ガス株式会社**  
UENOGAS

〒518-0838  
三重県伊賀市上野茅町2706番地  
TEL 0595-21-3611  
<http://www.ueno-gas.co.jp/>

2017-2018年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail <a href="mailto:branch@rid2630.org">branch@rid2630.org</a>	執務時間 9:30～17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務局	〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内57-4 センタービル3F TEL 0595-41-2631 FAX 0595-41-2632 E-mail <a href="mailto:1718@rid2630.org">1718@rid2630.org</a> ホームページ <a href="https://www.rid2630iga.org">https://www.rid2630iga.org</a>	執務時間 9:30～16:00 (土・日・祝日 休務)